京城日報

二十二日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢（郵送料金）一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲特別□定一行金拾錢增▲三號活字は二號活字同樣▲六號活字は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田□□　印刷人 □口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 編輯用 長三四五番 營業用 長二一六番 振替貯金口座京城三〇〇番

第三十七回帝國議會

衆議院（二十一日）

前日來の議場の騷擾に人氣を得て二十一日の衆議院は日程の平凡なるに拘はらず傍聽席は滿員立錐の餘地なし、午後一時十五分開會議長は大村和吉郎氏の補缺に當選したる靜岡縣郡部の選出清□太郎氏を議場に紹介し諸般の報告あり三輪市太郎氏（政友）議事進行に付き發言を求め十八日の議場騷擾を極めしは議長の措置宜しきを得ざりしに依るとて同日の速記を朗讀し議長の答辯を求めて降壇するや福田又一氏（同志）速記錄に關することなれば調査の上答辯することゝし議事を進むべしと提議し議長は本件は日程と何等關係なきに依り議事を運ぶべしと述べ三輪氏は議場の騷擾を防ぐべき重大案件なりとて議長の答辯を求めたるも議長容れず日程に入る

▼日程の質問四件

（一）外交に關する質問

△小橋藻三衞氏（國民）登壇對支警告倫敦宣言加入の失態を鳴らし外交に關する言論を愼むべきを適當とするも這は外務當局を信任する場合にして今日の如く失敗の場合は彈力ある國民の發議により解決せざる可らずと述べて降壇之に對し政府の答辯なく續いて（二）新領土經營に關する質問（三）臺灣匪徒事件の善後策に關する質問

△小林勝民氏（同志）登壇前問に對しては政府は新領土の經營に何等か一定の主義方針を有するや將又從前通りなるや臺灣匪徒事件は臺灣の政治に對する民心の不平が爆破したる者なり由來臺灣の政治は有形的施設の見る可き者あるも政治の神髓とも謂ふ可き人心を收攬するに足る計畫無し政府は該事件の原因に鑑み改善の實を擧ぐ可き意思ありやと問ひ次いで

△瀧口了信氏（中正）登壇（四）宗教尊重に關する質問

寺院及び宗派の廢止は一片の訓令若くば通告によりて行はれ其處分が假令へ不當なるも之を訴ふるの道無しとて現行法を非難し之にて質問を終り日程に入らんとする際議長は答辯の爲め發言を求めたる元田肇氏に發言を許す

△元田肇氏（政友）登壇十八日の議場に於て森田金澤兩氏は本員が日糖事件に關聯せる如く說明したるも當時本員は砂糖官營には反對したる者にて斷じてさる事無きを以て茲に明言すと述べ岩本平藏氏（政友）議場の衞生に關し議長に注意し漸く日程に入る

▼日程の改正法律案

（一）郵便爲替法中改正法律案

簑浦遞相の說明ありて委員附託

（二）電氣事業法中改正法律案

簑浦遞相の說明ありて委員附託

（三）明治四十四年法律第五十一號改正法律案

委員長山宮藤吉氏（同志）委員會の經過並に原案可決の旨を報告し直に委員長報告通り可決確定

●懲罰事犯の秘密會

此の時福田又一氏（同志）日程變更の動議を提出し武藤金吉氏（政友）外五名の懲罰事犯を秘密會として議す可しと提議し異議無く議長秘密會を宣し傍聽人を退席せしむ時に三時二十分

▼五名懲罰決定

斯くて六時九十分秘密會を解き公開議長は本會議にては懲罰委員會決定の通り武藤金吉氏（政友）は二週間、鳩山一郎氏（政友）岩本平藏氏（政友）は各十日間、小林源藏氏（政友）秦豐助氏（政友）各一週間出席停止、廣岡宇一郎氏（政友）は懲罰に附す可からずと決定せりと報告し何等の議論も無く直に散會せり（東京特電）

●獨艦擊沈別報

露都來電に據れば波羅海に於て露軍は獨逸巡洋艦ブレーメン及び水雷艇一隻を擊沈せり（倫敦電報）

●一時間の開通

巴運河永久開通難

巴奈馬運河の水道は充分なる保障を以て一時間の開通を爲したるが待ち合せつゝありし船舶は通航の用意をなせり同運河の永久的開通は未だ確保せられざるを以て更に案內あるまで巴奈馬航路の船舶は同運河の通行を豫期せざるを可とすと（倫敦電報）

●清帝尊稱保持

宣統皇帝を美德親王に奉し前清宣統皇帝の尊稱は尙ほ保持さるゝを許すべしと內定せる由（北京特電）

雜報

●支那新帝國年號

大典籌備處は支那今後の國號を中華帝國年號を武安と改むるに決せり（北京）

●帝政內閣制度

十七日發布の政事堂組織變更令と共に國務卿は大皇帝に對して全責任を負ふ事となり以後政事堂發布の命令は總て大總統の名義を避け國務卿は大皇帝の命に依り之を行ふ形式を執る事となれり是れ責任內閣政策用の前驅なり今後組織さるべき內閣は總理一、副總理二、外交、內務、財政、海軍、陸軍、司法、敎育、農商、交通、蒙藏、參謀の十一大臣にして各部每に一二名の副大臣を設くる筈なり（北京）

●帝政議院制度

新憲法に規定さる可き國會は兩院制度を採り立法院を下院とし民選制度とし參政院を上院とし勅選議員及び王侯伯男爵中より互選して議員とす可し（北京）

●袁家處分問題

大典籌備處は十七日會議を開き皇室の範圍に入る可き袁家の一族及び皇后と八名の貴嬪等の處分問題を討議したり（北京）

●御前會議と玉座

從來の總督府會議は御前會議と名稱され玉座を設けたりと但し前清の如く起立を用ひず總べて著席す可しと（北京）

●早や別宮の建築

過日陝西省南安より河南安徽各省を旅行して北京に歸れる人の談に據れば河南省洛陽の西北五淸里の地點に宏大なる西洋館建築され居り其の傍に煉瓦工場附屬しありて人の近づくを許さず官憲は之を機械局と稱し居れるも附近の人々は袁總統が帝位を踐む時別宮と爲し萬一內亂勃起して危險の虞ある時之に據つて帝業を繼續せんとするものなりと傳へられ居れりと（北京）

●黎氏冊封を辭す

大總統策令を以て武義親王に冊封せられたる黎元洪氏は民國建造に當りては惟だ上（袁世凱氏を指す）一人の努力にて元洪は何等功勞あるなし王爵を受くるは心に恥づる大なるものありとて之が回收を懇請せりと（北京）

●鑛業令

一兩日中に發布

朝鮮鑛業令は二十一日御裁可を經たる旨內閣より總督府に通牒あり。同令は全文約六十條より成り外人關係、先願權其他法律關係に就ては從來の法令とは全然面目を一新せるも種々の風評ありし德大制に對しては朝鮮鑛業界の現狀に鑑み何等の規定を設けず、而して施行規則は朝鮮總督之れを定むること勿論にして總督府に於ては既に編成を了へ大體審議濟となり居れるを以て遲くとも明春までには總督の決裁を經て發布の運びを見る可し、因に從來の鑛業令は統監府設置の劈頭に制定したるものにして併合と共に之れが改正案の編成に著手し今日漸く御裁可を得るの運びに至れる次第にて稿を更へ案を改むること實に十六回に及べりと

●寺內總督出發

上京中なりし寺內總督は池邊秘書官、大藤副官等を從へ二十二日朝東京驛發列車にて京都に向け出發せり滯洛は一兩日間なる可きも一度歸鄉の模樣なれば歸任期は早くとも二十七八日頃ならむと

●商議豫算修正

京城商業會議所の豫算委員會は二十一日午後二時より會議所に於て開會本年度豫算に就いて議事を開きたる結果總額に於ては增減なきも內容に於ては書記四名とあるを三名に減じたると會頭の月額交際費三十圓を二十圓に減じたるとにして右修正案は二十二日午後二時より開會したる本會議に於て報告する所ありたり

●憲兵隊異動

十二月十九日付を以て朝鮮駐箚憲兵隊將校の異動左の如く發表さる

朝鮮駐箚憲兵隊副官 野中政市

滿州憲兵隊附を命ず

朝鮮駐箚憲兵分隊長 有馬精秀

在川憲兵隊附を免じ滿州憲兵隊附を命ず

朝鮮駐箚憲兵隊分隊長 黒田寶太郎

在川憲兵隊附を命ず

●男爵崔錫敏氏逝く

男爵崔錫敏氏は豫て病氣の處二十一日午後一時を以て終に逝けり

●英領事館員轉任

在京城英國總領事館附二等補助代理ツイ、エル、ピー、フォーク氏は今回神戶駐在を任ぜられ此程當地を出發せり

●大阪より

△事業界の有望 近來事業界の勃發起債、增資、新計畫等各種の發展計畫頻出し來り現に今日までに聞き得たるものを列擧せば其重なるもの左の如し

△起債の分

合同紡績 百五十萬圓　東洋紡績 三百萬圓
高野鐵道 百五十萬圓　天滿織物 五十萬圓

△增資の分

沖電氣製□ 三百萬圓　室田石油 五百萬圓
川崎造船 一千萬圓　發動機 三十萬圓
東洋製紙 八十萬圓　宇治電氣 一千二百五十萬圓
東大西水力 五十萬圓　松田製作 五十萬圓
亞鉛礦 八十萬圓　電氣分銅 五十萬圓
大阪酒粉 五十萬圓　大和鐵道 八萬圓

△新計畫の分

日本染料 八百萬圓　グリセリン 三百萬圓
大阪製鐵 二百萬圓　東西ペイント 五十萬圓
アニリン 五十萬圓　ユニオン硝子 五十萬圓
東洋瀝水 五十萬圓　帝國豆粕 六十萬圓
日本汽船 五百萬圓　萬代生命 五十萬圓
東洋麻絲 五十萬圓　滿鮮製綿 五百萬圓
第一火災 五百萬圓　淺草土地 二百萬圓

△セメント再値上說 一般工業界の進展に伴ひ販路著しく擴大し大阪のポーランド、セメント同業組合は愈に直上決議をなしたるが尙再値上の議あり多分近日幾分の値上を見るならんと

△保險檢査再開 一般保險會社に對する農商務省保險課の檢査は一旦獎に著手の折柄御大典に逢着したるを以て一時中止の機會に至りたるが近日更に檢査を繼續すべく省議一決し出張官吏も地方別も亦內定したる模樣あり明春早々再開すと

△傷害火災兼營 日本傷害火災保險は社長興津衡七調査の結果更に火災兼營をなすに決し其の筋へ認可申請に及びたるが近く其目的を貫徹せん運びの由にて目下本社にて之れが營業上の準備に著手しつゝあるが右は主として再保險の引受けをなすものゝ由（支局發）

●聯軍ダ峽撤退

聯合軍は愈々ダーダネルスを撤退し兵員は他の戰鬪區域に輸送さる（倫敦電報）

南言北語

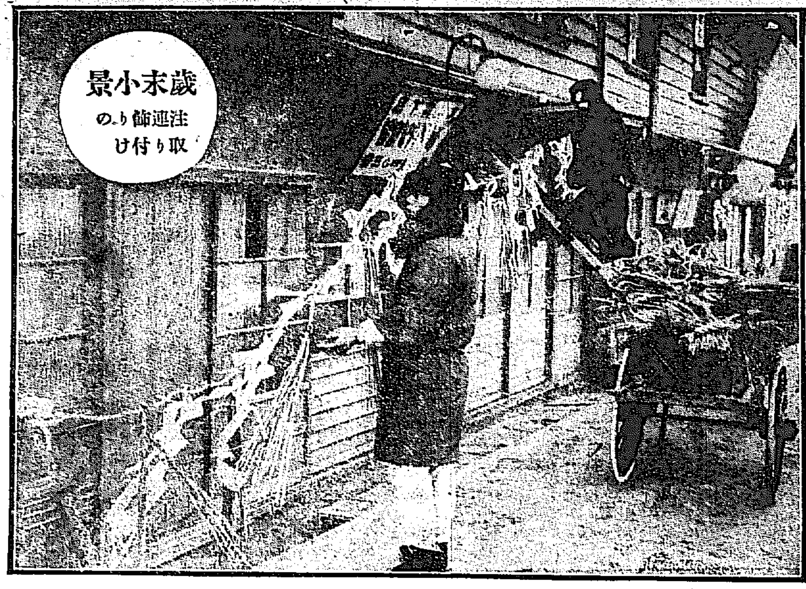
△聯合軍がサロニカに築城を仕やうとすれば希臘がドッコイ其れは困ると文句を持ち出した△希臘は最う協商側に屈伏した筈だつたのに之れではチト約束が違ふぢやないか△約束が違ふと云へば露國は支那帝政に同意する處ぢやない袁總統の登極にも賛成する相だ△昨日迄手を引きあつて來た積りだつたが何時の間にか其の手を振り拂つてソットあべこべに相手方と握手するなんて大分約束違ひだ△が迂つかりして居た此方の馬鹿さ加減には驚かざるを得ない何時手を振り放されたかトントお氣が付かれぬらしい△此の調子では露國のみならず他の人々も何時の間にか失敬して此方がオヤ〳〵と目をぱちくらす時には最う一人ぼつちになつてイヤ御苦勞樣と支那から挨拶さうなかも痛み入る次第だ△支那では帝政と決定して三日間大祝いをして居るが上海では其のお祝ひが冷淡だつたとかで今度三日間更らにお祝ひの遣り直しをやつて居る△處で此の遣り直しも矢ッ張り遣り直さなければお祝ひの遣り人がなかつたらしい遣り直しで年中やつて居れば景氣が好からう△が遣り直し處ではない上海では袁氏の肖像のついた銀貨は市價が一錢安くなつたと云ふ△價格が上ると云へば聞えるが下るとは其ら聞えません傷兵衞さんちやね△と云つて居たら雲南、貴州、四川、廣西から帝政は民意に非ず楊度等を斬罪せよと云つて來た△聞かなければ之れだぞと鐵拳に息を吹きかけつゝあると云をつかない事だ△此頃米國のコレンドスウェイト博士は人間は猿と牛との混血だと云つて居る△其うと云へば成る程獨逸人などは猿で英國や露國のノソ〳〵した處は牛に似て居る△日本にも神聖な議會で總理大臣を撲つたり摑み合ひをやる人種があるが之れは矢ッ張り猿が混じて居る方だらうから怪しむに足らずかね

家庭用としては至極 「便利な「國民日記」

近年、我が國の家庭にて益々日記をつけることの必要を認めらるゝやうになりましたのは、誠に結構な事と思ひます。これにつれて、記帳用の日記類も、年々發行高が殖えてまゐり、每年內容を整備し、意匠を凝して種々樣々の日記が出版せられます。中でも、此の「國民日記」は、其の編纂法に餘程の苦心を加へ、家庭用としては最も便利重寶なものです。即ち、主婦に必要な季節や、其の日其の日の惣菜料理とか、家庭救急療法などがあり、又婚禮の儀式、育兒の栞、交際の心得、さては衣服の事、花卉園藝の事など、凡そ家庭に於て、日常の用務を辨するに必要な事柄は、總て網羅してあります。殊に每日の欄下には世界偉人の年表、言行の大要、現代名士の誕生日、または世界重要事件の日時場所まで、參考として記してありますから、家庭敎育の資料も十分に蒐集されて居ります。尙は此の日記の特色として、大書すべきことは、每月の初めに、廣業、淸方、輝方、蕉園、百穗、耕花等現代十二畫伯のそれぞれ特色ある繪畫を挿入した事で、畫題に日本の代表的婦人を選んである事です。そして其の裏面には其の月々の季節と式日、行事、節物を面白く揭載してありますから、趣味の點から云つても、之に超した日記はありません。而も紙質の精良なこと、製本の堅牢なこと、裝幀の優美なことは、此日記の最大特色でございます。

定價金四拾五錢　郵稅金八錢

取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部


歳末小景 注連飾りの取付け

●年の暮は是れ沙汰 何處も同じ金の問題

□高利貸 太息と共に曰く

『月收のお方に小口信用秘密融通御一報次第參上』など、高利貸の釣出し廣告が新聞の案内欄によく見受けるのも迫つて來た

■今日此頃の景物 の一つだ、京城には由來月給取りが多い、そして一體に內地に較べて給與か潤澤で月收何百圓といふ敢へて高利貸先生の厄介にならずとも立派にやつて行ける人が多い、その代り又官紀振粛々々

■質素になつたと いつても何處かに殖民地式の贅澤な風が殘つてゐて小役人、會社員の癖に身分不相應な生活又は遊興する者などあつて手許不如意の向も尠くなく扱てこそ秘密信用貸が此年末にのさばり出してくるのだ、其次には

■市中商人を相手 の者も活動を始め出す今年は共進會で一般商人の金廻りはよくなつたわけだが事實はそう理に嵌めた樣には行かず金廻りの惡い者も大分あつて相應に需要があるさうだそこで例の月給取相手の

■小口信用貸なり 商人相手の大口物の回收はどうかといふに每年の事だが今年も例によつてよくない、月給取連中は共進會のために餘計な金こそ使つて居つても特別收入といふ樣なものは更にない、定まつた額の歳末賞典などは

■共進會中の穴埋 になつてしまつてその上正月の支度や歳暮年玉のお禮ひやらがあつて中々餘裕はない、商人の方でも或特殊の者を除く外は景氣はよくないとあつて元金の回收は却々困難だ、返金する者がなければ

■隨つて貸出しも 十分出來ないわけなので此の處帳面と睨め競の高利貸先生死物狂ひだが全く思ふ樣には參りませんと滾す、然し擔保を取つた者は倒された處が損はなし貸付の期間が長くなればなる程利子も增してゆくわけであり

■信用貸の方と雖 も朝鮮では役人ならば判任官二人以上の保證人を立てなければ始めから貸さぬ事になつてゐるのでこれも滅多に踏まれることがない何彼と滾す割に朝鮮の高利貸は手固いといふ事だ

□法廷 に現はれる此頃の債權債務問題

何と言つても慾の世の中で、世間が景氣立つても不景氣でも喧しいものは取引の一事である、取引も債權者債務者相互間の契約を履行し實行したら何も

▼問題は無い のであるが、夫れが決して定規通り行はれてゐない爲め遂には裁判沙汰に迄擔ぎ出すといふ順序になる別して問題の解決を急ぐ年末になると取引上勢ひ無理なことを迄やることになる、併も

▼景氣の好い 年は一層取引が激しい、訴訟を提起しても到底見込の無いやうな債務者には手數を掛けた丈損耗となり泥棒に追金となるから却つて景氣の盛んな年末程取引は激しいことになる、今年末の景況を昨年の其れに比較するに大正三年度中に於ける京城地方法院民事部の

▼取扱ひ件數 に就て見れば京城は由來朝鮮の首都であつて內鮮人の數も多い丈訴訟も頗る錯雜したものや金額の多額なもの或は原被兩告共に相當地位あり名望あるものが尠くない、昨年中合議訴訟として取扱つたもの四百六件、外に五十一件の雜事單獨即ち

▼一千圓以下 の訴訟事件が二千四百十八件、和解事件五十四件、支拂命令二千八百五十八件、不動產等を競賣に附したるもの二百四十八件此外に辯論を要せざる事件一千四百九十四件、登記事項中不動產のみで一萬三千餘件を計へ尙ほ其他に

▼動產の登記 もあつた、一地方裁判所で恁かる多數の件數を取扱つてゐる所は恐らく全國中でも有數なものであらう、此點から打算して如何に取引が行はれてゐるか、如何なる取引上の縺れが多いかといふ事も推究される、年間を通じ今年度は昨年度より一層其

▼件數が增加 してゐる、其中にも民事訴訟事件の種類として最も多いのは貸金の請求が主である、土地の爭ひ、其他損害賠償、賣掛代金等約束手形、不當利得、執行異議と列擧する迄の無い程である、併も右の內年末に際して殊に活動するものは

▼貸金を請求 する高利貸と賣掛代金を取急ぐ各種商店とである、殊に多いものは約束手形の紛糾に關するものが第一位である、京城では凡ての取引を殆ど約束手形で取行つてゐるといふ程であるため爲に其紛騷が甚だ多い、以前は

▼講金の訴訟 が頗る多數であつたが近年其數を減ずるに至つた、夫れと高利貸金の訴訟數が漸減しつゝあるといふ傾向がある、此は表沙汰にすれば債權者の方で相互間の如き高利を貪り得ざる裁決となるから

▼猥りに訴訟 を提起せぬ樣になつたのと、一般借方が所詮一步進んで來た爲め貸倒れになるやうなことも尠くない、更に年末差迫つた昨今では少額の訴訟が多く而も其數が例月より殖えてゐるそれで一般訴訟事件の中でも原告が內地人で被告が朝鮮人であるものが

▼裁判所の方 でも面倒な事が多いといふ、殊に舊韓國時代營利事業をやつてゐた古い經路の取裁きを今頃持ち出す者が續出し其れが而も爵位ある朝鮮貴族に甚だ多い事は頗る注目すべき現象である、而して是等

▼貴族の訴訟 に關するものは原告が普通人被告が貴族であるか或は其反對であるとを問はず多くは其訴訟金額が大きい、是等合議の取扱ひに係るものは一萬圓以上十五六萬圓迄のものが多い、次に約束手形は簡單で輕便であるから京城では取引上

▼唯一便利の ものゝ樣に取扱はれてゐるが此は割合に不確實なものである却つて借用證書の方が健全なものである、例へば約束手形に支拂地は書くが振出地を明記して無いのは解釋次第では無効のものになつて終ふのである、只證書と異つて讓り渡し等に

▼融通が利く から重寶がられて流通してゐるものであらうが良く其性質を知悉してゐない素人には約束手形なるものは一面危險たるを失はぬ、其れから一般訴訟事件では自己に有利なる證憑書類物件等を提出することで其れと同時に踏むべき

▼手數だけは 踐むで措かないと折角の訴訟も無効になるか或は敗訴はなるようなことが尠くない、一例を示せば銀行或は郵便局等への貯金通帳の如きを債務の代價物として受けたる際など之を兩者間に讓渡しありたる旨相當の通牒を

▼局或は銀行 に發して措かないと何等有効のものとならない、又地所を買つた場合は土地の所有權證明を登記濟みとしておかなければ買主の無効に歸するが如く斯の如き場合は計へ上げたらば際限なきことゝ思はれる（京城地方法院民事部長談）

●豪雨が降る時は 直ぐに觀測所から豫報を出す

仁川觀測所にては從來低氣壓通信は一切取扱はしめず單に月一回の簡易氣象通信を爲さしめつゝありし各觀測所に於て來る一月一日より重に豪雨（三十耗以上）其他通氣象上激變を認めたる場合に於て電報にて即報せしむる事とすれば之れが目的は氣象觀測上の資料は勿論なるも重に農作物被害に對し迅速に當業者の應急處置に便する爲めなりと云ふ

●六十名の警官出動して一擧に怪しき古物行商人を檢擧す 暮の街を徘徊する掏摸ひと明巢覘ひ

年末に差迫り竊盜の被害續出し各警察にては何れも之が檢擧に努め居れるが殊に明巢覘ひ及び掏摸ひの類頻出し寸時も油斷出來ざる有樣にて併も是等掏摸ひ及び明巢覘ひの中

▲內地人宅を專門 に荒し廻る者尠からず京城本町警察署にては早くも其原因に着目し二十一日午後一時より同四時迄一擧に是等の手配を擧潜せんと非番巡查二十八名巡查補三十七名を以て市內を徘徊する古物行商と稱する朝鮮人六十九名を檢擧し悉く本署に引致して所持品及び身體檢查を行ひたる結果五十七名は

▲古物行商違反者 十二名は浮浪者たること判明したるが何疑はしき行商者四戶を臨檢したり然るに是等の手段は表面古物行商を標榜して市內各戶を覗き廻り『ボロ新聞紙！古物ないでしかー』とさも古物を買ふ如く裝ひ若しも家人不在なれば直ちに侵入して有合はする

▲靴洋傘等の如き ものを竊み取り咎められたる際は『買つたものです』と答へ且つ彼等古物行商者が古物を携帶し居るとも傍人は別に怪しまざる爲め是等の點を利用し盛んに掏つ拂ひをなすものがあるが此惡むべき常套手段を看破せられ遂に檢擧せらるゝに至れる次第にして取調べの結果判明せるところによれば甚しき者は

▲古物を買ふ資金 とては鐚一文も所持せず大なる袋一つを携へ居るのみなるもあり是等の徒七名は處罰し其他は嚴戒の上一先づ放還し十二名の浮浪者は三名を處罰し九名は嚴戒の上放還したり右の五十七名中鑑札を所持し居りしは僅かに八名にて他は殆ど悉く牢泥と見做すべき行爲ある徒輩なりし由尙前記六十九名の外に

▲同業者約二十名 を取調べたる所是等は鑑札及び規定の帳簿を所持し貸金十圓乃至二十圓を所持し居りしを以て疑ふべき點なく其塲に於て差許したり是等行商の徒は多く市外の阿峴里往十里又は竹添町其他附近の村落に居住するもの多く中には全く住所なき者さへありたる程にて同署にては尙引續き撲滅策を講究しつゝあり

●山積せる叺燃えんとす 仁川海岸の椿事—幸に逸早く鎭火

二十二日午後九時頃仁川海岸町穀斗量場の叺より出火し折柄附近に積みありたる穀物入りの叺の山に燃移らんとせしより素破事こそと皆々色を失ひしが最寄の常備消防手逸早く馳け付け直に消し止め大事に至らずして事濟みたるは何よりの幸なりし

●釜山港外無人島に ダイナマイト大箱十箇を發見す

青島火藥廠倉庫より竊取せしダイナマイトを釜山港に密輸入の上之を不正漁業者に賣渡さんとして發覺し主謀者は逃走し共謀者二名を逮捕して釜山署に於て取調中なるが何分共犯者の二人共主謀者の行衛を自白せざるのみならず輸入せしダイナマイトの所在をも明かにせざる爲め小藥川警部以下の刑事巡查は鯨丸或ひは玉浦丸に搭乘して晝夜兼行海上捜査を行ひたる結果遂に廿日に至り牧之島に隱匿し居たるダイナマイト大箱四個を發見し引續き加德島附近の無人島に多數隱匿せる形跡現はれたれば即時同巡查を鯨丸に搭乘せしめて同島に向はしめたるに果して無人島の空小屋（漁夫等が上陸休憩する所）に十個の大箱隱匿し在りたれば之を收容して引揚げたりと

●結氷三寸 漢江氷上の往來

龍山衛戍分隊より警務總監部への報告に依れば龍山附近の漢江は十七日結氷し昨今は其厚さ約三寸に達せり、されど鐵橋以西は中央氷らざる爲め渡船あれど上流は全部結氷せる爲め上下の交流は杜絕したり、而して人馬の往來には危險なきもスケートは尙ほ多分の危險あるを以て注意を怠らずと

●煙草乾燥用の汽罐破裂せんとす 猛烈に石炭を焚く

今月十一日午前七時三十分義州通り朝鮮煙草會社の煙草乾燥用汽罐火夫が水の無きに不注意の結果猛烈に石炭を焚き爲めに汽罐は危くも爆破せんとして爆破なし得ず狸の腹の如く膨脹したる椿事あり急報に接し京畿道よりは蜜田技手現場に驅付けたるも既に後の祭にて如何とも手の付樣なく罐は膨脹の部分のみ切り取りて修繕して一塲の笑話となれるが該汽罐は昨年一月据付使用し其當時水壓百八十ポンドの試驗に何等異狀なく常用汽壓九十ポンドにて使用し來り居りたりと又汽罐の使用には檢水硝子管を裝置しあれば平常注意して罐內渇水の有無を確めたる上點火するを要し然らざれば意外の椿事を惹起するに至るべければ大に注意す可きは勿論なるが檢水硝子管も一日に一回は必らず試驗を爲さざれば罐內との通水の點往々にして不能の塲合あれば汽罐の裝置ある各會社工場等に於ては注意せざる可らずと

●二千圓の行衛 講金を費消す

京城市內を徘徊し住所不定なる無職金原來（五七）は外六名と共謀し昨年六月より稧會なるものを組織し契員三百名の豫定にて一回四十錢宛を出金せしめ結局百七十五名にて第一回を發會し本年九月迄に三十二回繼續し內百四十二名の掛金十二圓八十錢宛として合計一千八百十七圓六十錢の掛金の行先を晦ましたる爲め被害者三名より告訴せられ發起者たる外六名も共に本町署より檢事局へ送らる

●本町に猩紅熱

京城本町三丁目新田谷ひさ子（一二）は十九日發病二十一日診斷の結果猩紅熱と判明早速順化院へ入院加療中尙吉野町一丁目川口あさ子（四）は十九日發病二十一日檢診の結果實布的里亞と判明之も順化院へ

●書籍代五十圓

京城南大門通四丁目普興運輸組事務員具漢會（二八）は十一月九日取扱ひに係る書籍代四十八圓八十錢を橫領したるため雇主に告訴され本町署より檢事局へ

●黃興病氣虛報

天氣 北又は西の風晴

歳末年始贈答品荷揃
◎東京羽子板、教育玩具各種
◎小倉百人一首かるたイロハカルタ
◎婦人髪飾、羽織紐、袋物一式
お子供方や御婦人方へ御進物品はオモチヤ、コマモノに限ます
オモチヤ部
コマモノ
京城本町二丁目 織田東洋舘 電話二六九八番 振替京城二五六七番

年末歳始の贈答品として丸善の
オノト 無飾 六圓 銀飾 七圓 金飾 九圓
オリオン 二圓八十錢 は最も進歩的なり

特約店 京城本町二丁目 大阪屋號書店 電話三〇八六番 振替京城二五七三番

御贈答用 メリヤス各種
體裁優美實用向品揃
小供マント各種新荷著
足袋厚司 ショール 雜貨
京城本町一丁目 鈴木支店 電話一八七三番

革より強き專賣柳䩸着荷
東京トランク、信玄袋、手提柳籠
國旗。玉房。旗竹荷著
旅行用具は高木
投ても破れぬ保證附
特製支那䩸 製造販賣
色々御好に應じ勉強致します
京城本町一丁目 高木商店 電話一三四番

時下嚴寒の砌り御得意樣各位益々御淸榮の段大慶至極に奉存候陳者弊亭儀各位の御引立を蒙り日々隆盛に赴き候段深謝候就ては此際聊か平素の御厚恩に報ゆる爲め特に一層の大勉强仕り忘年會、新年宴會及お正月重詰其他御料理一切如何程にても御需めに應ず可く候間些少に不拘御用命仰せ付けられ度此段謹んで御願申上候
京城南山町一丁目（電話二三五番） 松葉亭

◎露帝の袁帝承認
露國皇帝は支那政府にして人民の自[illegible]

仁川新花水里富川郡背面長岸島[illegible]

◎船頭の盗み
[illegible]の鼻毛に持ち歸りたる處折柄郷里長岸島より實父死亡の通知に接したる[illegible]

◎遼西排日依然
義縣盤縣にも波及
支那政府が遼西地方を日本主張の通り南滿洲の範圍に屬する旨承認せりとの説は既報の如く誤傳にして未だ左る解決を見ざるのみならず其後同地方よりの報道に據れば邦人に對する支那官憲の態度は一時稍々良好となりたるも近來更に逆轉し錦縣地方に對する日本人の發展を飽まで阻害せんと努めつゝあるが如し
▲錦縣在住邦人は目下六七名にて支那官憲壓迫の下に有ゆる侮蔑と凌辱を忍びつゝ今猶容易に退却せず家屋は日本人の名義を以てして支那人は之が貸與を許さざるを以て支那人の名義を用ひ若くは竊に支那人を懐柔して之を借入れ遼西問題解決までは一同此儘窮死するも退却せずと頑張り居るところ頗る穎揚しきものあり流石の支那官憲も之れには持て餘し一時は暴力を用ひて退去せしめんとしたるも後日の面倒を恐れ今は左る行爲にも出づる能はず止むを得ずして默認し居るも支那人との接近は種々の手段を弄して之を阻害し支那人にして彼等に近づき若くは多少にても其用を辨ずる者あれば例の國賊條例に照して之を處斷せんずる勢を示し居る爲め在錦縣日本人は今や全く孤立無援の境に在り斯くの如きは遼西地方の邦人排斥は今や啻に錦縣附近においてのみならず
▲義縣又は盤縣にも波及し既に居住の日本人は遼西の南滿洲に非ざる理由を以て之を退去せしめんとし新たに居住せんとする者には極力妨害を與へ甚だしきは此の方面に於ける指定鑛山の調査に赴きたる邦人をも斷じて入るを許さずと之を阻止するなど其の傍若無人の振舞殆ど言語に絶するものある爲め該方面の邦人は非常に憤慨し問題解決の速かならん事を望み居れり（大連）

◎連絡貨物激增
歐洲戰亂の突發以來日本內地に於ける外國航路の船舶に不足を告げ日鮮兩土間の航海船激減せる結果獨り關釜間航路に當る關釜連絡船は益々盛況を呈し現在連絡船外の船舶の積載數は漸く連絡船の五分の一にも及ばざるの狀況にあり今本年始めより十一月末迄に至る其の成績を聞くに本年は一般に經濟界不振の影響を受けて旅客の往來頻繁ならず一月以來八月頃までは乘客に於いて昨年に比し甚だしく減少せしが京城の共進會並に御大典の爲め旅客遞に增加し十一月末迄の本年乘客總數は十六萬七千八百二十六人にして倚昨年同期間に比し三千七百七十名の減退也然して例年に徵するも十二月は千二百人內外の乘客を見て遂に十七萬人を計上するに至らざるべし然れども荷物の積載數は輸出入とも增加し殊に輸出に至りては昨年の倍額以上に達せり之れ出入船舶の減少と運賃の安き關係上荷物は多く連絡船便に依るが爲めなり昨年度に於ける十一月末迄の積載荷物噸數は十二萬三百八十噸なりしが本年同期間は十七萬六千七百五十七噸を計上せり就中輸入側に於ては昨年同期間七萬七千九百五十九噸なるが本年は八萬五千五百卅五噸にして船腹の關係上本年は朝鮮への輸入は殆ど全部連絡船便に依りたりと雖も戰亂の爲め麥粉、亞米利加にしん等の外國品の輸入少なく織物、化粧品、裝飾品等は鮮人購買力減退の爲め減少せし結果前記の數品に止まりしなり輸出側に於ては昨年度に於て漸く四萬二千四百二十一噸なりしが本年は實に九萬一千一百二十二噸に激增せり之れ本年は殊に米穀類の輸出盛況にして十一月の如き昨年に比し三倍強の數量を計上せり倚本月は輸入額約千噸輸出額約千五百噸に達すべき豫定にして本年度連絡船に依り輸送せられたる荷物總噸數は約十七萬噸に達するに至るべしと云ふ斯くて其中釜山商人の取扱に成るもの輸出に於て約三割輸入に於て約四割を占め居れり

◎浦鹽貿易盛況
露國の戰時關税實施せられて以來釜山より浦鹽に輸出せらるべき米穀は一時行惱みの有樣なりしも何分既に結氷期間近にある事とて同地よりの注文頻々たる結果自然輸出口を激增し廿日釜山發浦鹽に向ひし朝鮮郵船會社汽船平壤丸は籾、精米合して六千四百叺を積載して出港し倚日本郵船會社汽船小倉丸は臨時に二十三日頃當地發の豫定なるが既に精米四千叺籾一千叺に達せり

◎西鮮水產發展
平南沿海の水產業は逐年發展し來り來年度に於ては約卅萬圓即ち前年度に比し六七萬圓の激增を示せるが是れ主として統計調查の綿密となりたるにも因るべけれど斯業發展に伴ふ漁獲高の增進又其一因を爲せるものと見るを得べし來年度よりは五箇年計畫の下に一層其發展を企圖せらるゝ筈にて殊に本年始めて異常の成功を贏ち得たる鰆流網漁業及び出漁船百二三十隻に達するの大盛況を見せたる濱川浦沖の石首魚、鮟鱇網漁業又來年度に於ては更らに目覺しき活況を呈すべしと

◎群山の籾摺業
群山米穀檢查所の開設せられてより群山米則も全北米の價格の著しく向上せられたるは內地格附數字に於て示す如くなるが群山當業者等は群山米の聲價を層一層向上せしめんが爲め籾の乾燥を良好ならしめ取引上の弊害を矯正し米質の改良を圖る趣旨の基に群山籾摺業組合を組織し既設米穀檢查と相呼應し米質の改良價格の向上に資せん目的を以て群山米穀商岩田宇之助、半田徹一、三橋寅吉、落合鐵太郎、澤田傳松、藪谷延治、花岡鶴松、前田熊次郎、藤井保治郎、玉井甚三郎、井上平次、森菊五郎、藤井廣吉、布井嘉造、村永根、東相根、權泰日氏等發起となり定款を作成し近く該組合認可申請書を其筋に提出すべしと

◎南浦電氣問題
近時鎭南浦電氣株式會社の點火成績甚だ宜しからず其の燭力極めて弱き爲め普通の洋燈より光り薄く而已ならず故障連夜に亘り點燈者の迷惑尠なからざるに付其筋にても此儘打ち捨て置けずとなし相當の設備を加へ之れが改善を企つるやう廿日警告的注意を與へたるが一方遞信局にては鎭南浦電氣會社が其の有する發電力により久原精煉所に必要なる電力を送り市中點燈者に何等の故障を與へざるや否やに付互細取調べを行ひたりと云ふが其の回答は會社の精煉所に對する電力送向は一般點燈に影響ありとの結論を得し者の如ければ遞信局よりも何等かの命令を出し來るべきかと云ふも翻つて會社の實際に見れば株主は無配當を續け亦資力の關係上發電機の增設等も困難ならんかと聞く

◎群山繩叺組合
全羅北道管內に於ては多年當局の熱心指導獎勵の結果農家の副業として繩叺の製產年と共に多きを加へ道內製產額の首位を占むる沃溝郡の如きは昨年度に於て二十八萬枚なりしものが本年度に於ては優に四十萬枚に達すべき見込にて道內全郡を通じては巨額の製產を見るに至るべし然るに從來該業に對する統一的完全なる機關なく從つて製造品を矯正し優良品の製作を奬勵誘導すべき者なく個々優良品を製出するも劣等品に混同せられ優良品たるの價值利益は徒らに一部仲買商の懷中を肥すに止り何等斯業啓發に資する處無きを以て群山に於ける繩叺の消費者即ち重なる米穀商等發起となり群山繩叺購買組合を設立し該品取引上の弊害を矯正すると共に斯業の發達に資せんが爲め第二十五條より成る定款を作成し去る十二月十四日附を以て其筋に向て組合設立認可申請書を提出したり

◎温突の不始末
二十二日午前零時四十分頃京城釜[illegible]
二十圓[illegible]

◎日置公使夫人病氣
北京[illegible]潮九にて急遽出發の準備を爲したる[illegible]に午後に至り再び御來診御見合せを[illegible]博士は同日出帆の天[illegible]も膈閉塞は元來輕からざる病症なれば氣遣はしき限りなりと河西博士は語れり（大連）

ロシヤ名產
御進物には青木商會の
イブシサケ
カラメール
スジコ、紅茶
スケート、莨
珍菓箱入御好調進
絹並、更紗
毛布毛皮防寒靴
オモチヤ其他色々
京城本町交番所東側 電話三三八〇番

◎大邱水道工事近況
其後著々進捗しつゝありし大邱水道工事は廿一日までに配水池より鳳德洞大邱河畔に至るまで全部導水管敷設を了し廿二日より更に巴洞に向て工事を進め一方配水池より府內まで配水管線路工事を竣へ廿二日是が竣工檢查をなせり

◎忠州分隊長榮轉 野中忠州憲兵分隊長は忠淸北道憲兵隊本部付副官に轉補せられ前任假原副官急遽歸國に付事務引繼の爲め電命により二十一日家族同伴赴任せり

◎長城陶器傳習 既記の如く全南長城郡に於ける陶器製造傳習は京城工業傳習所技手を教師として去る十五日より黃龍面砂店里にて開始したるが同地の陶土は頗る良好にして彼の隣道全北に於て有名なる高敞燒に用ひ居れば此れを精選せば優に內地製陶器に匹敵するものを製造し得べきも朝鮮陶器は總べて價格低廉なれば目下此れを分析せず山出しの儘にて使用しつゝあり而かも該製造場と陶土所在地とは倶に停車場より里餘の距離を有するに過ぎず運搬交通にも便利なれば若し內地人にして之に陶器製造所を設立すれば相當の成功を收め得べしと

本場 秩父 名仙 銘仙 半衿
京城本町一丁目
丸木屋
電話一三四二番

◎連絡船上陸客
廿一日午前入港弘濟丸二三等客（一等二名、二等二十八名）原田勝子、同鮮子、同勝雄、岡田仁吉、同花子、加納きつ、同ひで、高見甚治、管原初、石稲組正、佐々木鶴之助、立石しも、同すみ子、吉田なわ、中野順吉、八澤鐵平、同みれ、增田新夫、前田政太郎、同ト、同二郎、同三二、深田政太郎、小松五郎、田中惠三郎（三等百三十八名）
廿一日午後釜山入港對馬丸二三等客（一等四名、二等十二名）中村林治、富田周太郎、坂本和吉、馬淵榮吉、村松啓、西田嘉三、濱田信哉、山安次郎、渡邊寧吉、丹羽寛士、西山吉兵衛、大島甚吉（三等四十九名）

商況

債券現物特電
東京 二十二日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	九六、〇〇	—
日銀五厘	—	—
朝鮮銀行	一六四、〇〇	—
朝鮮五厘	—	—
南滿鐵道	一四七、五〇	—

東京 公債直取引特電
二十二日出來値段（前日との比較）

五分特別	九五、五〇	—
五分甲號	—	—
一回四分	—	—
二回四分	—	—
甲号五分	九三、五〇	—

深川在米特電
二十二日現在高

朝鮮米	八〇、九四〇
香港米	六一、八二七
內地米	一七七八、二三六

東京期米特電
廿二日前場　一月限

寄付	一五、四〇	—
高値	一五、五一	—
安値	一五、四〇	—
止め	一五、四七	—

大阪株式特電

	前日	後場	二十二日前場
鐘紡	[illegible]	—	—
宇治川水	[illegible]	—	—
神戸電氣	[illegible]	—	—
京阪電鐵	[illegible]	—	—
和歌山電	[illegible]	—	—
合同紡績	[illegible]	—	—
四國紡績	[illegible]	—	—
同上新	[illegible]	—	—
東洋紡織	[illegible]	—	—
大阪商船	[illegible]	—	—
日本郵船	[illegible]	—	—
大阪米穀	[illegible]	—	—
東京新株	[illegible]	—	—
大阪株式	[illegible]	—	—

大阪三品特電
二十二日前場

十二月限	一三、九〇	一三、八〇
一月限	一四、一九	一四、二〇
二月限	一四、九〇	一四、八〇
三月限	一六、一〇	一六、〇〇
四月限	一六、八〇	一七、〇〇
五月限	一七、九〇	一八、〇〇

大阪期米特電
二十二日前場

當限寄付	一四、九四	—
同引け	一五、四五	—
中限	—	め止

下關期米特電
[illegible]

朝鮮物產特電

馬山大豆	二三、[illegible]	鎭南浦大豆
同白大豆	二三、[illegible]	元山大豆
城津大豆	[illegible]	同小豆
仁川玄米	[illegible]	城津大豆
同 上	[illegible]	長城大豆
仁川	[illegible]	仁川小豆
釜山中白	[illegible]	平壤大豆
仁川上白	[illegible]	群山大豆
仁川中白	—	木浦大豆

雜報

◎主力株人氣 昨今の株界は[illegible]
[illegible]

◎製粉稍落付 人氣は引締り
有力なる買材料と目する事を得べし要するに東京大阪共に現在の價位に止まるが如き形は容易に望む事を得べからずと
沈靜にて動もすれば下値を附けんとする掛合あるも日本日清東亞の三社は現物二圓八十錢來月もの二圓八十五錢以下は斷じて賣り應ぜず又內地方の原料は八升位に取引行はるゝも纏まりたる買物には應ぜず併し需求に押し迫りたる折柄とて一部の間屋は同賣急ぐ掛合あるを以て或は

◎少の下落なきを保し難し又三目先き多
[illegible]

◎千瓢大奔騰 乾瓢は天候[illegible]
不良續きな現出したるより[illegible]
[illegible]

◎十錢と云ふ前例なき高値
[illegible]
二十四圓五[illegible]

◎出穀果して如何
[illegible]

◎農家の賣惜みに籾
[illegible]

◎出穀は決して少なからざる
[illegible]

◎餘裕を與へざる在米に停滯
[illegible]

◎新炭類と眼先
[illegible]

◎一二三錢方低落
[illegible]

◎ヂリヾ引締り一方
[illegible]

◎價格は引續き
[illegible]

◎白米移出商談
[illegible]

◎神戸 [illegible]

◎十五圓處
[illegible]

▲群山と籾の出廻
[illegible]

◎平均約一二三千叺
[illegible]

◎米山と築約二割の減收
[illegible]

下關相場
▲朝鮮白米は依然[illegible]
[illegible]

顧客本位正確神速
仁川米豆取引所仲買人
サンビキ 仲買店
電話[illegible]

各地商況
○木浦（二十日の穀物）
▲米況（頗堅）[illegible]
[illegible]

▲前場動かず
[illegible]

▲大阪の五十四錢
[illegible]

◎一段伸力此邊に一呼吸
[illegible]

▲大納會如何
[illegible]

◎手仕舞賣買の關係
[illegible]

◎大納會に際し氣乘り薄の場面
[illegible]

▲大阪前場成行
[illegible]

◎十錢と暴騰し十五圓六
[illegible]

◎持續大勢上は依然強硬
[illegible]

◎強弱の腰入れ深き
[illegible]

京城正米
[illegible]

◎移出商談に持合
[illegible]

南大門の廻米

島山	二七七叺	水原白米 三四叺
仁川玄米	七〇叺	水原籾 二二叺
島山玄米	五六叺	水原白米 二二叺
島山白米	二七叺	金村白米 四四叺
金村白米	二八叺	一山白米 二二叺
水原白米	二七叺	金谷白米 一七叺
沃川玄米	二七叺	一山白米 二七叺
平澤白米	二六〇叺	天安籾 四五叺
新灘白米	二七叺	天安籾 五五叺
沃川白米	八二叺	天安白米 八九叺
鳥山白米	二〇叺	天安籾米 七叺
島山籾米	一七一叺	
	一五四叺	

[illegible]田中[illegible]
電話長一六二八番
一五二二番

仁川現物市場
△越入津七八百俵
氣配變らざる內に多少安人氣
△正米定期の伸び悩みに連れて多少安唱へなるも午前中商賣行はれず
△大豆入津五六百叺
氣配變らざる人氣

仁川期米
二十二日前場　大阪
△二十二日前場 前場先限⊖十一圓五錢六[illegible]
[illegible]

▲二十二日前場十六錢高の入電
[illegible]

▲押目は又買物
[illegible]

市場零聞
[illegible]

▲前場の商戰
[illegible]

仁川米豆取引所
廿二日の二月限

前場	寄付	高値	安値	止め	出來高
	十一圓〆五錢	十一圓〆五錢	十一圓〆七錢	十一圓〆二錢	九千二百石

平均値段

一節	十一圓〆六錢
二節	十一圓〆四錢
三節	十一圓〆四錢
四節	十一圓〆五錢
五節	十一圓〆五錢

	賣買取組高
十二月限	三萬七千五百五十石
一月限	三萬八千五十石
二月限	[illegible]

出來值比較
二十一日後場出來值　前日比較

一二、一二	七安
一二、一〇	五安
一二、〇二	五安
一〇、九	七安

北濱だより

▲船株高の因
船株が高いとの[illegible]
[illegible]

好機「好機」御大典記念ミ本機の使用季
▶特許 ▶實用 國益製繩機械 特價金拾七圓荷造料三十錢
本機は[illegible]
▶特許 ▶實用 T M式製筵機械 特價金拾八圓荷造料六十錢
[illegible]
明細圖解說明書御申込次第送呈
東京上野停車場前 內外農器商會
電話下谷三七二番 振替東京四五八番

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御高需に應ず
京城日報社 寫眞製版部

廣告
うなき味噌漬
大好評 濱江特產進物用最適品
燒ハゼ
生鰻。
大生かき
中生かき
くらげ
右卸小賣共精々大勉強販賣仕候間多少に不拘御用命の程希上候
京城旭町二丁目（不知火旅館角）
大阪賣
うなき味噌漬、燒ハゼ
發賣元 三友商店 （電話一四八〇番）

朝米
⊕ 橋本猪作
致富之寶無代進呈
御會注文は紹介を要せず
大阪堂島米穀取引所仲買人
電話長[illegible]
振替口座大阪二四[illegible]

●新裔著アンクル式片側機中時計●
機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
十八形 ... [illegible]
十形 ... [illegible]
右は今回新着の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して御愛顧を乞ふ
小包郵便にて御送附仕候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

最上醬油
朝鮮仁川府
高杉醬油釀造場

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番
定價金一[illegible]

優良石鹸
花の都
マスト石鹸發賣元
東京 大阪 野村外吉商店

[illegible]報 天氣豫報
[illegible]
[illegible]（五月二十四日[illegible]）
彼岸 三月十八日 九月十[illegible]
社日 三月十八日 九月二十[illegible]

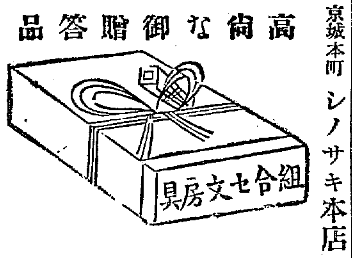
越後大評定

第八十一席 早川貞水口演

惡人共の誓約

愈々十五人の者が誓ひを立てましたから、是に美作意中を語つて大事を明した、一時は之を聽いて、一同顔見合せたが、血判に及んだ以上は、今更違背は出來ぬ、すると一人『醫者を御選びなつて味方に付け、萬事相談しなければ、宜い工合には運びませぬ』と云ふ『成程道理至極なり』と延保二年正月七日、七草の祝日を幸ひ小栗美作、濱野玄祐と云ふ御殿の醫者を御招きになり、福茶などを下し置かれましたに依つて、玄祐有り難く御祝儀を申上げ、御暇を頂戴いたさうとすると美作が 美『さて玄祐少々其方に尋ねたい事がある、 玄『へ 美『此方へ參れ』と一室の內に招かれ 美『先頃より其方は病氣でありしか 玄『御意に御坐います、常に養生堅固に致し居る醫者の自分では御坐いますが、やはり人間、病ひには勝たれぬので御坐いまして 美『フゥーム、併しながら快う成つて仕合せぢやな 玄『へー漸うのこと快復いたしまして、今日の七草の御祝儀福茶を頂戴いたすやうに相成り、仕合せの至りに御坐います 美『イヤ併しながら其方は、何日ながら勇健ぢやから、病ひも準じて早く癒るであらう、時に其方なか〳〵博學にして何事も宜う心得居るが、昔より天下の人、擧つて此の七草を祝ふのであるが一體七草と云ふのは何う云ふ譯であらうか、此方辨へて居らぬのであるが 玄『是は恐れ入りまして、和漢の事、なに一つ御心得ないと云ふてとのなき貴下樣が、何故で其の由來を御存知のないことのあるべき 美『イヤ〳〵殘念ぢやが、全く存ぜぬ、希らか今日は予に其の故事を趣かしてくれえ 玄『恐れ入ります 美『イヤ〳〵、冥賓ぢや 玄『左樣で御坐いますか、御承知では御坐いませうが、私の心得居りますのは、印度と天竺の國境に流沙と云ふ所が御坐います、其の邊は大變大きな砂原で御坐いまして、六町一里にして八百有餘里その內に一の川が御坐いまして、之を流沙河と申し、其河上に鴆と云ふ毒鳥が棲んで居ります、又この河下には、一角と云ふ獸が棲んで居ります、之がために鴆と云ふ毒鳥が羽叩きをする、其毒が河の中へ落ちて流れる、之を飲みますれば忽ちの間に毒に中つて死するのでありますが扨て世の中は宜く致したもので、河下の一角と云ふ獸が其鴆の毒を消して了ひます、故に此水も下流に至りましては、飲んでも一向差支ないと云ふので御坐いますが、併し恐ろしきは此鴆の毒、この鳥が或る大昔のことで御坐いませう、正月七日に、日本奥州仙臺の奥へ來り、それがため此毒に觸れて、多くの人が皆何と云ふ病の程も分らず死するので御座います、時の帝大に之を歎かせ給ひ陰陽師に勅を降し、之を防ぐ者を占へと仰せられた時に、此鴆と云ふ鳥の毒に觸れた者は、七草を食するに於ては、其毒忽ち消え去せる其七草と云ふのは芹、薺、御形、蘩蔞、佛座、菘、蘿蔔で御座いましてまた之を水に浸して、指先の爪、足先の爪などを除ります時は同じく毒を消すと云ふので御座います、夫より致して此七草を俎の上に載せ、火箸、火吹竹、庖丁、杓子のやうなもので『七草薺、唐土の鳥が、日本の國へ來らぬ前に、トコトン、トン〳〵〳〵斯う云ふ風に調子を取つて叩きますと七草が鴆鳥を掃ふと云ふ所から例となつて、毎年正月七日に、此七草を揃へて祝儀を致すものと承はつて居ります』

高尚な御贈答品



京城本町 シノサキ本店

京城本町 シノサキ支店

十二月廿四日 九星 舊十一月十八日 己丑 本命八白 長除 佛滅

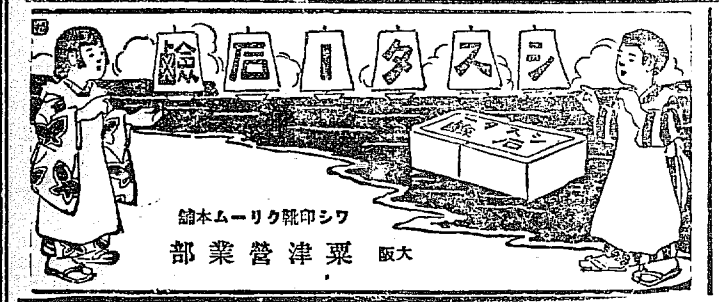
▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible]

演藝案内

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 十二月二十一日より ○歳末掉尾の大寫眞 ○新派大悲劇 人の親 全四巻 ○死の騎手 全五巻 ○天然色活動寫眞

壽館 本町 電話一〇五〇 十六日初日演題 ○神崎與五郎(浪花軒岳風)一休悟道録(桃中軒雲道)小栗判官(京山愛子)倉橋傳助、宇都宮釣天井長講二席(京山扁壽)

有樂館 本町一丁目 電話二六六 十二月十八日より新寫眞 ○實寫エクレーア週報 ○喜劇伯母さんの猫 ▲日活會社關東撮影所 ○新派活悲劇 閻魔の彦 全三巻 ○泰西正劇 盡ぬるゑにし 全三巻 ○泰西大活劇 増給 ○舊劇 久米の仙人 全七巻



本家 田知本和三郎謹製 大阪市西區新町通二丁目 振替大阪二八一八番 各藥店に販賣す

新年 名刺はがき 明治町二丁目(敎會堂通)長崎名物屋

大正館 明治町 電話八七一番 [illegible] 全七巻 [illegible] 大前田英五郎 全三巻

御成座 電話二九一 [illegible] 新朝顔 ハッピリ

黄金館 臨時特別大興行 大冒險大活劇 死の騎手 全五巻 新派大悲劇 人の親 全四巻

壽座 本町 電話五七八 十二月十八日より 新派誠美團一行 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 新派 [illegible] 京山恭爲一行 [illegible]

たんをさりせきをしづめ　龍角散　ぜんそくに特効あり

今です！ ぜんそくの流行期は、凡ての人が警戒すべき氣候激變の時は。今です!! この時期には極めて強壯な人でも風邪を引きがちですが夫がたん○せき○となりぜんそくとなると決して油斷はなりません。

油斷は大敵 わけてたんせきぜんそくは最も緊要な呼吸器を侵し遂には肺炎、肋膜炎等に變症し易いから輕症の內に呼吸器病一切の專門藥龍角散の服用が

最も肝要です 又敗年の難症に悩む人も怠らず服用あらば氣分爽快となり病悩は日々に去らざる

主治効能 △たんにて常にゴホンゴホンと悩む人 △ぜんそくにてゼイゼイ息切する人 △せき頻に出で夜半オチオチ眠り兼る人 △流行感冒より起るたんせきの人 △肺病にて常に力なきせきの出る人 △たん臭氣を帶びたる血の交る人 △小兒百日せき又はしかせきの人 △音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに顯著なる卓効あり又常々音聲を使用する人の用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

二十日分	四十錢	郵送料 二錢
一週間分	二十錢	二錢
四日分	十錢	二錢

取次 全國各藥店にあり▲賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ

本舗 東京神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎 電話浪花一四二四 振替口座東京九一

皇后陛下 各宮殿下 御嘉納 國民新聞社編 定價五十錢 郵税八錢 本社負擔

理想の家庭

▲理想的家庭 德富猪一郎氏 ▲敎育 下田歌子女史 ▲結婚 鳩山春子女史 ▲育兒 瀨川昌耆博士 ▲衛生 吉岡彌生女史 ▲交際 山脇房子女史 ▲住宅 伊東忠太博士 ▲中流の納戸と裁縫部屋 羽仁もと子女史 ▲室內の裝飾 井上秀子女史 ▲庭園 長岡安平氏 ▲園藝 鈴木武太郎氏 ▲臺所 入澤博士夫人 ▲家庭料理 赤堀峰吉氏 ▲家庭經濟 嘉悦孝子女史 ▲下婢の使方 加藤博士夫人 ▲家庭の娛樂 巖谷小波氏 ▲衣服 堀越千代子女史 ▲洗濯 宮川壽美子女史

内容一斑

本社は現代斯道專門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より、育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尚諸先生考案物の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、是非共一册を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。

大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

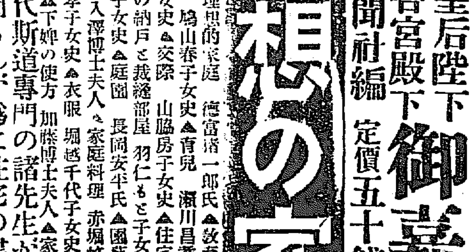
婦人科 産科 入院分娩應需 京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂 中央婦人病院 (電話二三四〇番)

家庭內職生大募集急告 弊商會は朝鮮譲製造界の元祖にして日に月に販路擴張し需用者多數の申込を有し今回第三回の自宅內職生を募集く候本業は新案美術譲製にて老幼男女を問はず容易に出來る職業にして資金僅かに十圓以內を投すれば月收二十圓以上の利益[illegible]之候製品は弊店に於て全部引受け遠に取引を契約致候[illegible]前途有望の好職業に有之候付希望の諸君は來店又は郵券十錢御送付あれば製品見本並に就業案内を呈候此際各方面の諸氏は新義州 老松町三友社に申込まれたし 營業品目…自轉車、各種タイヤ修繕一式、ゴム玩具品原料一式、城入輸直元 京城黄金町四丁目黄金遊園地前 日之出護謨商會 振替京城二五九九 電話二六五二

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 増本酒店 電話一〇九 振替京城六一九番

池田季雄 イケダ小兒病內科醫院 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅八八〇番)

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢四厘 壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山旭橋町 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候



大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎 京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 場主獸醫肥塚正太 京城蓬萊町四 東亞牧場 (電話五二廿)

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
吉丸 十二月 日後四時出帆
君が代丸 十二月 日後四時出帆
土海丸 十二月 日後四時出帆
神代丸 十二月 日後四時出帆
大有丸 十二月 日後四時出帆
第二太湖丸 月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○航所屬航路(濟洲航路を除く)間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
汕頭丸 十二月廿六日 午後五時出帆
溫州丸 十二月三十日
淡城丸 十二月廿三日
○木浦、釜山、長崎行 ▲は嚴原佐須奈へ寄港
×安東丸 十二月廿六日 午後二時出帆
▲城津丸 一月二日
○鎮南浦、大連行
×安東丸 十二月廿二日 午後二時出帆
城津丸 十二月廿八日
◎鎮南浦行
×漳州丸 十二月廿三日 正午出
◎大阪直行
天佑丸 十二月 日後五時出
○群山、釜山、濟濱行
△千珠丸 一月十二日 午後四時出帆
△チヨイサン丸 十二月卅日
○大連直行
△千珠丸 一月七日 正午出帆
△チヨイサン丸 十二月廿五日
○清津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
久丸 一月八日 午後三時出帆
宮丸 十二月廿八日
▲大智丸 一月二日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 十二月廿六日 午前十時出帆
安平丸 一月十日
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前迄無賃送迎可仕候 ×印は一等客御斷り △印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番
中國四國沿岸各港行船客に對し我分の間門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船仁川出帆

電話長一九五二番二二三番 京城南大門通 松原運送店 (電話長二七〇)
鐵道及汽船と聯絡運帶輸送の便あり。詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候
全羅丸 一月三日
京畿丸 十二月廿四日
黄海丸 十二月廿八日 釜山發
成鏡丸 一月七日
(門司より釜山各港寄港延長の事)
咸興丸 十二月廿九日
昌平丸 十二月廿三日
鏡城丸 十二月廿五日 元山發
(元山より各港經由雄基行)
平壤丸 十二月 日 元山發
忠清丸 一月十日 元山發
(城津、清州、浦潮行長崎釜山經由門司)
永興丸 毎月廿八回 元山發 (北久味、五里浦行 又は長崎延長)
嘉島丸 十二月廿五日 釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行)
江陵丸 襄陽丸 毎日 (釜山浦項)發 (長生浦、方魚津寄港)
三浦丸 十二月廿八日 釜山發 (長承浦、馬水、巨文島、濟州島各港行)
海州丸 巨濟丸 慶寶丸 毎日 釜山發 (統營經由麗水行)
順天丸 三日目毎 木浦發 (各港經由麗水行及麗水より釜山行に接續)
慶興丸 十二月廿三日 木浦發 (各港經由濟州島行(四週))
公州丸 十二月 日 木浦發 (南多島海州島行(月三回))
公州丸 十二月廿七日 木浦發 (各港經由濟州島行(東廻))
宗信丸 十二月廿四日 仁川發 (海州龍岩浦經由、海州龍岩浦行)
江原丸 十二月廿七日 仁川發 (芝罘、大連、青島行)
麗水丸 十二月廿五日 仁川發
晋州丸 十二月三十日 仁川發 (各港經由木浦行)
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)
平安丸 十二月三十日 十二月廿七日 群山發 若松發 (往航 大黒山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行)

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸 十二月廿七日 正午出帆
三河丸 一月十二日 正午出帆
竹島丸 一月三日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

第一共同丸 十二月廿四日後二時入 十二月廿六日前九時出
(東京、神奈川、之県、大連行 大連にて市島行定期船に接續御取扱仕候 と司郵送貨にて通し御取扱可仕候)
城津、清津、浦潮行(元山出帆)
第一阪鶴丸 十二月 日 月 日 後九時 出港
(元山出帆)
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 十二月 日前入 十二月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町二丁目(電話一〇八番) 山下回漕部 仁川代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
文神丸 十二月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行
立神丸 十二月卅日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸 一月四日後五時出
○元山、城津、浦潮行
小倉丸 十二月廿三日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 十二月 日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 一月一日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天與丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山港埠頭立町 本船取扱店 大池回漕

京城日報
第三版
二十三日朝刊（第二千九百八十一號）

下關期米 大阪株式 [illegible]

▲後場の商戰 [illegible]

▲本日の現物界 [illegible]

出來高 一萬四千五百五十石
平均 二十一圓十二錢丁度
値段 三節 二十一圓メ一錢
四節 二十一圓メ一錢

◉滿鐵人の窃盜 [illegible]時平壤府竹典里七十三金某方の店頭に陳列しありし針十束包六個を窃取し十八日檢事局に送られたるは住所[illegible]

◉[illegible]三十一 平原郡東松面君子里[illegible]永（三五）は鄭某なるものより其筋の許可を受けず爆藥百火線十尺雷管七[illegible]

朝鮮の先史民族（承前）

八木奘三郎

（丁）山砦

世界の蠻族間には城郭なし、然れども支那の苗族、日本のアイヌ間には倶に砦塞なるものあり、是等は永く文明國人に接近せし結果にして、否らざるものには其例を見ず、而して苗族の分は彼等の名稱と、其形狀大小の別とは未だ明かならざれども支那の歷史上に依て按ずれば、世に所謂砦寨の類にして且つ山上に位置することは確實なるが如し、又アイヌ間に行はるゝものは概して臺地の突出せる鼻に數重の空濠と土居に似たるものとを設け、其中に在りて敵を防ぎしもの、如く、砦の前面及び左右は展望に適し、背後には山岳、或は高磯の類連續するに似たり、其內部は至て狹しと雖も塞の性質に能く適へるが如し、今日アイヌの談を聞くに此遺跡は彼等の祖先が嘗て戰爭に際し、守禦の必要上築造せしものにて其名をチヤシコツと呼ぶと云へり、我同人間にては之を其性質上より見て城郭と稱する人あれども後世城郭の意味は廣大と堅固とを具足する傾向あり、而して其簡單なるものは常にトリデと呼稱し支那にても苗族の分は皆な砦●塞●の文字を當て、又漢族間の分にても右に似たるは堡●と稱せり、今朝鮮先史民族の城郭に類する遺跡を聞くに、其位置と大きさとはアイヌ又は苗族の分に似たれば、予輩は之を山塞と稱することゝなせり、但し斯る遺跡は鮮地にても咸鏡道方面より江原道の北東地方に限る有樣なれば、其分布と使用の原因とは深く考究する必要あれども、何にせよ是等の遺跡內より石器の類出で、又其中に擂石ありと云へば、先史時代の築造物たる觀あることは略ぼ確實なるが如く又後世の城郭は斯る單純なるものより漸次に發達せしならんとの談を聞けり、其の說頗る面白しと雖も、唯だ茲に注意す可きは、右を先史時代の遺跡と稱するに就ては今後數多の確實なる例證を擧ぐる必要あることと是れなり何となれば日本のチヤシコツ內には縱穴の存するものと存せざるものと二樣の別有り、其縱穴あるものは始め防禦者が住居として使用せしならんとの說出でしが、爾後調査の步を進むに當り却つて北海道の如き寒地のチヤシコツ內には縱穴なくして陸奧の如き本島內に此例を見るは偶ま石器使用の民族が住居として造りし縱穴存在地に後年チヤシコツを築造せしものにて斯る先代の舊墟地に後代の遺跡を重ぬる例は廣く世界に求めざるも內地に於て屈指に遑あらざれば、前說は誤れりと主張するものあり、其言甚だ理あるが爲めに衛說は今日吾人研究者の數甚だ少く、又其實例も餘り多からざれば世上に議論を聞くことなく、又山塞の先史民族遺跡說は恐らく確實にして動かざる可しと雖も、萬一學說の變化誤謬等速かなる場合は却て世人の輕侮を招く媒ともなれば最初深く愼重の態度を取る必要あるを感じ茲に此一言を附記して注意を望めり。

石器天降說に就き八木氏に質す（下）

小松綠

八木氏は更に大膽なる斷定を下して（十八日朝刊）曰く

斯く石器が太古民族の使用品たることを覺知せしは僅々百年內外に過ぎざれども、其の採集と研究とを主とせしは近年に始り、就中朝鮮の如きは吾人同好者數名に過ぎざれば、此の種の智識は殆んど暗黑界に葬られ居るの觀あり云々

八木氏の研究にては、石器は近世に至るまで唯天降物と認められたるに過ぎずして、其の太古民族の使用品なることを確認せられたるは百年內外の事なりと云ふに在るが如し、今を距る何千年何萬年頃に石器時代の存在せしや、將又其の石器時代が何百年間何千年間繼續せしや等の問題に就ては學者間に幾多の議論あり、然れども人類が石器を使用せし時代の存在せし事、言を換ふれば八木氏の所謂石器が太古民族の使用品たることを學者の覺知したるは、決して百年內外の事に非ざるなり。

古代の遺物に依り石器、銅器、鐵器の三時代に分類せるは比較的近代に屬するも、人類が石器を使用せる時代ありし事を確認せるは、遠く二百五十年の以前に在り、其の一例は英人サー、ウヰリアム、ダグデールの如き千六百六十年に於て既に此の說を發表せり、但だ石器時代を更に新舊二期に分劃せしは、近世に至り、サー、ジョン、ラボツクの創說に係り、少くとも現今の用語たる『パレオリスキツク』及び『ネオリスキツク』はラボツクより始まれり、而して舊期に屬する遺物には獸骨人骨をも交へあり、石器も粗笨にして砥磨を經ざるものとし、新期に屬する物は專ら石器にして稍精巧なりとす、然れども新舊兩期に屬する遺物は、同一の地方に存在するもの稀れにして、大抵は各別の地方に分存せり、故に之に由りて必ずしも同一民族の進化程度を卜知するを得べきに非ず、或は異種民族の併存せしことを類推すべき資料とも見るべし、凡そ精粗巧拙の別は獨り石器時代のみならず、銅器及び鐵器時代にも存せり、而して其の然る所以は必ずしも時期の前後にのみ由る可らず、地域の東西にも由るべし、若し精粗巧拙を以て時期の前後をのみトすべきものとせば、千萬年の後に今日只今現存する朝鮮人の用器と內地人の用器とを地中より發見したりと假定せよ、其の時の學者文明程度の相異れる內鮮人の同時同所に生存せるを知らず唯其遺物の精粗巧拙を對照して兩者の時代に前後ありと臆斷せば果して如何、故にラボツク及びエヴアンス等が石器時代を新舊兩期に分ちたるは危險の業にして予輩の首肯し能はざる所なり、然れども是は本論に干繫なきを以て詳說せざるべし、唯八木氏に注意したきは他なし、石器時代の研究は近世に至りて漸く科學の域に達したりと雖も、石器が太古民族の使用品たることが、學者間に覺知せられたるは、八木氏の推定するが如く百年內外の事に非ずして、實は二百五十年內外の事なるを立證せんとするのみ、予が茲に門外より多少の苦言を呈するは、聊か專門家の自重と精査とを推奬せんとする老婆心に外ならず、八木氏は勿論他の篤學者の明敎を得ば、豈啻予輩の啓蒙に資するのみに止まらんや。

新春の京城日報

新年號七十頁

我社は大正五年一月一日歳の改まると共に更に大活動を開始し專心紙面の改良發展に力を致し面目一新以て讀者に見えんとす

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試驗せられんことを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の老大を以て誇らんとするものにあらず其實質の雄大健實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす。記事に於て材料に於て寫眞繪畫に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

電報欄の擴張

從來と雖も內外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ內外各地に特派員通信員を增置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件悉く之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して新春以後の本紙を見よ

定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇

議會覗き

東京支局 一記者

昨日の大紛擾で大風の吹き捲くつた跡の衆議院は今日は朝からヒツソリ閑として庭の冬木立に雀が議員連の向ふを張つて囀つてる許り▲せうことなしに院內の理髮店へ飛び込んで議員の品定めを聽く、却々面白い▲床屋の小僧の素破拔くところに依ると犬養さんは冬は三分刈、夏は五分刈で一度頭を刈つたが最後、三月間は其の儘で剃らないとは無精の大關▲さうかと思ふと高木益太郎さん、岡崎久次郎さん、小川平吉さんなんぞのメカシ屋は一日置き▲『高木さんも岡崎さんもあの通りな禿頭でせう、小川さんは頭が禿げてもの▲凝り屋といへば石橋茂さんでヤレそこが引込むの、そこが出るのと鏡と睨ツ競で小言タラ〳〵▲『あの爺ムサイ的野半介さん、あれで顏は三日目に乾度剃りますよ、尤も此頃若い別嬪の奧さんをお貰ひになつたさうですから無理はないでせう』と小僧遠慮もない事めたことを言ふ▲望月鐵三さんと來ては髯を捌らせるんださうだから驚く『今時あんな舊式な人は他にはありません』と小僧の眼を圓くする▲禿げ頭の人は大概横の長い毛で禿げてゐるところを隱すさうで小川平吉さん、本間恒之さん、須見千次郎さん、岡部次郎さんなぞは何れも禿げ隱しの御連中でさア』と小僧は……何んでやらの……小僧又しても失禮なことを吐かす▲加賀卯之吉さんは大阪の床屋以外には一切頭をいぢくらせないさうで東京にゐる間はいくら髮が生えても我慢してゐて大阪へ歸つて剃らせるのださうな『へゝ、何うせ贅六でサー』と小僧聲突く▲『ハゲ萬さんや岡崎運兵衛さんや市原又次郎さんのは何うだ』と聞くと小僧噴き出して『イヤ鋏やバリカンの通ることといつたら…、何だか禿頭に香水を掛けるのは勿體ないやうな氣がしましてネ（十九日午後）

▲あら苦勞人でさア▲と森田小六郎さんは振つてる▲三日目に來る人は本田恒之さん、木下謙次郎さん、小久保喜七さん、富田幸次郎さんなど大分ある▲尤も富田さんには山本內閣の時に理髮代三十錢の貸しがあつたのですよ、まさか借金があるのでお見えにならなかつたのでもないでせうが其から髭張りお出でがなく、今度二年振りでお見えになつて利息十錢附けで四十錢頂戴しましたハツハツハ』と造作もなく素破拔く▲一番難かしい頭は三土忠造さんで、この人の頭は上の方がツボンでゐて恰好が頗る惡いから刈り難い▲植場平さんのも難かしい、この人は六分位で先きの方を分けたやうな分けないやうな風に見せるといふンだから凝つた

京日詩壇

書感 大島未定稿

早寒驚客心、漸々逐孤衾、霜壓離邊菊、風傳月下砧、新愁傷鬢髮、晩景想山林、未暇希嘉遯、感時轉刻深

飛鴻豈是逐時流、作客笑他悲白頭、霜急晴朝上楓葉、鴉寒日暮下蘆洲、水雲不要三間屋、身世相縁萬斛舟、尼父登山天下小、誰從踏海魯連遊

不是西山高座主、又非衡岳懶殘禪、欲闢捫東一枝杖、老却峽中丘壑前、恰是東奔西走時、道馬不起見賊儀、無中有路通消息、先佛出與唯若斯、天下豈非無所恐、憑馬任脚踏寒氷、人來莫問途難易、我去那論才拙能、祇合住持閒覺性、可堪坐斷碧巉巖、出關最恐知音少、伴侶平生有一藤、朝向上宗乘技大機、輪崖撒手望相依、朝雲暮雨人間事、昨日是爲今日非

日報俳壇

碧子郎選

冬の日

短日や柄杓に足らぬ甕の水 空螺
桶屋去つて庭亂雜や日短き 同
歷石々磧に探るや暮早し 同
短日や机して文を書く婢 幽谷

寒

訪ふ家の四隣の留守や襟寒し 未知男
船遠くついて汽笛や島寒し 同
鉛毒に汝が哀顏の寒さかな 韭城
訪へば遠き襖より寄る寒さかな 潮外星
物貧る子の提灯消えて町寒し 雲帝
溫突を焚きつくる背寒き風 三餘
風音は地に無く空や暮寒し 李山人
寒風に樹々騷ぐなり暮の町 露風

炬燵

寒へや佛拜めは又炬燵 三餘
炬燵より土瓶の雀おもしろし 同

閑爐裏

來し客に又起きて寄る閑爐裏哉 雲帝

題冬の句三十寄する 京城明治町二丁目五番地 [illegible]村宛投稿の事

朝鮮產業指針

朝鮮總督 伯爵 寺內正毅閣下題字
朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎閣下題字
朝鮮總督府農商工部長官 石塚英藏閣下序文
朝鮮總督府勸業模範場長 農學博士 本田幸介閣下序文

監修 蠑生十郎
編者 大橋清三郎 同 川端源太郎 同 三輪信一

總クロース 四六倍版 一千百九十四頁 五百二十五葉 寫眞挿入 [illegible] 定價 [illegible] 送料 [illegible]

一、本書は始政五年記念朝鮮物產共進會に各當業者が當局の審査を要求したる事業の經營方法及成績に關する記述書中農業、拓殖、林業、鑛業、水產、金融等主として直接產業に關する記述書を採擇編纂したるものにして、之れに附加するに李王職を始め重要會社と銀行の事業を以てし尙且つ總督府の施設は、官と民との兩面より、如何に朝鮮產業の改良發達に努力せられつゝある乎を、最も適確に紹介せんと欲するの微衷に外ならず

一、本田博士序文中の一節に曰く『共進會展示の出品物たる農產と水產と其の他の生產とを問はず、各人勤勞の結果にして之によりて裨益する所尠なからざりしと雖も、吾人の更らに知らんと欲する所のものは該生產物か如何の計劃如何の方法如何の勞作及經費によりて提供せられたるかに在り、然るに不幸にして多數の觀覽者は概ね生產品のみを見て事業成績書を逸し、或は學理に據り或は實驗に基き、一生の心血を注ぎ、最善の努力を盡し或は多大の資財を拋ちて成りたるものなるを知るに由なかりしは、余儕の最も遺憾とする所なりき、今者開發社諸子が本書を編纂し美を拔き粹を萃め之を奇劂に附し朝鮮產業の發達及改良に資せんとするは蓋し近來の快擧と云ふべし』云々誠に能く本書の眞價を發揮せられたるもの謹んで茲に錄し敢て自贊せず

一、本書の內容は、八編に分たれ之か目次も亦た二十六頁に達し一々列擧すべくもあらず、依て各章中只た一を錄して左に揭ぐ

第一編 農業 第一章 一般農業
六、不二興業株式會社全北農場 ……一九
第二編 拓殖 第一章 水利及灌漑
四、金海水利組合 ……六七
第三編 林業 第一章 造林
三、李恩徵 ……九〇
第四編 水產 第一章 漁業及養殖
三、張容堅 ……一〇四
第五編 鑛業 第一章 鐵及石炭
三、三菱合資會社 ……一八三
第六編 金融及經濟 第二章 特種金融機關
四、原州地方金融組合 ……二二七
第七編 農產製造 第一章 精米
三、奧田貞次郎 ……二三四
第八編 朝鮮總督府產業施設 第一章 農業
三、棉 ……三三六
第十章 電氣
二、發電水力調査 ……四六八

一、以上の外、本書挿入の朝鮮土性圖と合版朝鮮水產物分布及造林適地圖は未だ完きを得る能はざるも短時日の間多大の苦心と努力に依て成りし所のもの

要之、本書は朝鮮の產業は如何の情態にある乎の質問に對する最も適實切當の答案として見るを得べく、政治家事業家技術家其他如何なる階級を問はず一日も座右に缺くべからざる寶鑑にして復た指針たるを疑はず、我社が此送舊迎新に際し本書を提供するを得たるは最も光榮とし且滿足する所なり

但し本日より發賣發送す

大正四年十二月二十三日
京城府水標町四十二番地
朝鮮產業指針發行所 開發社
電話番號 一五四三番
振替京城 參貳參貳番

歐洲大戰亂

▲希勃兩軍衝突

ブリンデン來電に曰く、希臘アルバニヤ國境コリツア地方に於て希勃前衛部隊の間に戰闘あり双方死傷者を生じたるが希臘は該戰場へ増援隊を派遣せり（倫敦特電）

▲英軍ダ峽撤退發表

首相アスキス氏は英國下院に於て英軍のアンザク撤退を發表し且つ右は先般内閣の決定に基きて實行したる者なり該撤退行動は極めて圓滿に行はれ其衝に當れる陸軍司令官海軍參謀及び陸海の有ゆる階級が非凡なる技術を發揮したりと附言せり（倫敦電報）

◎第三次革命亂平

廿一日在上海革命黨同志より横濱に在る黃昆に宛て第三次革命軍は十九日雲南省に於て組織され湖南四川南省に及よと飛電あり其頭目は李烈鈞なりと（東京特電）

◎板倉有罪確定　次點者は鵜澤氏

千葉縣選出代議士板倉中氏（中正會）は選擧法違反として東京控訴院に於て懲役四箇月の宣告を受け上告中なりしが此程上告棄却となりたり依つて次點者鵜澤聰明氏（政友會）當選すべし（東京特電）

◎獻納品天覽

天皇陛下には御大典奉祝の爲め内閣宮内省其の他全國各府縣より意匠を凝らせる美術工藝品を獻納せるを赤坂離宮に陳列せるより天覽の爲め二十二日午前九時三十分宮城御出門同離宮に行幸被遊同十一時還幸されたり獻納品中の重もなるものは竹内栖鳳畫伯の金屏風外務省の獻納に係る高さ七尺の銀製鶴東京市より獻納の十五名勝を畫ける衝立東京商業會議所よりの銀製燈籠神戸市よりの銀製地球儀京都市よりの綴錦等地方の名産珍品何れも壯麗優雅を極め合計一千餘點に達せり（東京特電）

◎總督京都到著

寺内總督は既電の如く二十二日午前八時三十分東京驛發午後七時五十分京都驛著大津屋に投せり（大阪特電）

◎壹岐丸引返す

關釜連絡船壹岐丸は二十二日風波の爲め下關に引返し荷客を高麗丸に移乘同船は廿三日朝釜山に入港の筈（釜山特電）

雜報

◎袁帝即位と大赦

支那政府は新皇帝即位と同時に一切の慶典を頒布する筈にて已に準備中なるが其中大赦に關する詔令案は業に成案を決し歸任後更に調査する所あり

◎黎氏院長辭職

參政院々長黎元洪氏は大總統策令に據り武義親王に册封せられたるを以て院長の職は勞ひ繼續する能はずと今回其職を解き十六日附參政院參政薄儀氏を同院々長に特任せり薄氏は前清皇族中に於ける政治に通達する精明幹練を以て知られ曾つて前清の資政院々長たりし人なり（北京）

◎救國儲金返還

救國儲金團は吉林、長春とも返還せざるに決定したるも齊々哈爾に於ては今回大會を開きて返還のことに決したるが其の理由とする所は第一目下使用の途なきこと、第二上海貯金團既に返還に決したれば之が支部たるもの宜しく返還して可なるべきこと、第三此の際若し信を失せば將來再び金を集むること能はずと云ふにありて利子も中國銀行より附することゝしたり併し朱黑龍江將軍は之に反對の意見を有し將來實業の勃興する時之に投ずべしと爲し居る由にて一般に這の成行を觀望し居れり（長春）

◎齊愛鐵道起工期

齊々哈爾、愛琿間の鐵道敷設は愈に朱黑龍江將軍が北京に滯在中既に成案を決し歸任後更に調査する所あり

彌々來春解氷を待ちて起工の筈にて總延長一千二百支里、工費二千二百萬元なるが其の内最も難工事は撫江鐵橋と興安嶺隧道とにて此工費に八百萬元を要すべしと（長春）

◎滿蒙醫略主義

滿蒙開發策に就て河西醫學博士は往訪の記者に語つて曰く滿蒙開發は邦人の義務にして其方法は各方面より觀て多種多樣なるべし然れども醫學者としての予の意見は予の天職を發揮する上に於て他に道あるを知らず此際滿蒙人をして邦人に信賴し兩者親和し以て

▲協同開發の事に從ふを最急務とす之が爲め進歩發達せる我醫術を活用して未開にして天壽を全ふするの方法を知らざる滿蒙特に蒙古人を懷柔するは最も策の得たるものなりと思料す即ち予が滿蒙醫略主義是なり奉天醫學堂卒業生の如きは其局に當らしむるに最も適切なり邦人第一回卒業生は既に之を出し二年後には支那人卒業生を出さんとす此等の者滿蒙各地に散在し一視同仁の天職に向つて活躍する曉に於ては我醫術に信頼せしむると同時に諸方面に於て我邦の施設指導に悅服せしむる事を得べし予が

▲北京に一大醫院を設立すべしとの意見を發表するや滿鐵重役等も之に贊同の色あり目下同仁會に於て經營せる同仁醫院改築の議あるを動機として別に適當の地を選んで外形の壯麗なるは勿論内容の完全を期し手腕秀でたる醫員を配置せんと考へなり之を爲すには個人事業としては不安の點無からず依つて滿鐵會社の如き大會社に依つて後援せられざるべからず而して滿鐵の醫院事業と聯絡經營せば藥品材料の補給に便なること醫員缺員の場合之に代る者を補充し得て以て醫務を敏活にし藥價低廉にして治療の確的を期し得べし斯くして初めて

▲内外人に我醫術を誇り支那人の信頼を集め得べし但し醫院新築の爲め支那より選定地の永代借地權を得ることは我が醫術者の到底其衝に當り得ざる處にして外交官の手腕に待つ處多し（大連）

◎連帶港と貨物

朝鮮郵船株式會社鐵道連帶港の内左記の各港は船繰の都合上當分寄港不定となりしより鐵道局にては各驛より同港行貨物の取扱を停止する由なり但し同港發鐵道局線著貨物は之を取り扱ふことあるべし

▲元山經由[illegible]　▲木浦經由[illegible]　▲仁川經由[illegible]

◎ガリポリ半島撤兵は至當　某將軍談

此兵サロニカに移されん

ダーダネルス海峽のガリポリ半島に上陸したる英佛聯合遠征軍が戈を斂めて兵を撤退せしむるに至りしは蓋し聯合軍として當然の順序たり是れ固より曩に同地方を巡察せる英のキッチナー元帥が歸來して其見解と主張とを基礎とせる協議の結果に據りしものたるや明にして今日此擧に出でしは

▲寧ろ時日の遲かりしをこそ認めらるれ決して不當とは目する能はず而も英佛遠征軍のガリポリ上陸たるや言ふ迄も無くダーダネルス海峽を手中に收めんが爲めにして一には黑海の露軍と相通じ二には土勃乃至獨墺南下の牽制に當つる筈なりしも土耳古軍の抵抗意外に強くにガリポリのみの攻戰だに意の如くならずして荏苒今日に至れる間に一方塞耳維軍は國内一兵をも殘さず掃討せられ之が救援の爲めサロニカに上陸せる遠征軍は行軍僅にして土勃聯合軍に敗られ又克く行く能はざるに至り遂に退いてサロニカを守るの

▲止むなきに際會せり而も其サロニカも洞ケ峠に天氣見の希臘に迫られて築城を拒まれ居る有樣なりサロニカにして撤兵の止むなきに陷らんか卒んぞガリポリ半島のみ停滯其位置を守るの要あらんや寧ろ自ら好んで死地に陷るを待つのみ今日其撤退の報に接するに及んでは此の行動を是認せざるを得ざる次第なり電文簡にして要を悉くさざるも其撤退兵は何れに向けらるべきか四十萬と云へば十箇師團五箇軍團内外の大軍なり最近獨軍は西方戰場に軍器彈藥を輸送して大計畫あるらしければ或は西方戰場へ輸送せらるべきか然も尚其以前に於て

▲サロニカは危急に迫り居れり此儘に拋棄せばサロニカの運命は蓋し遠からずサロニカ陷れば次の守りは埃士に賴るべし想ひ思へば論じ來ればガリポリ撤退の英佛軍はサロニカに送らるゝと見るが至當なるべしサロニカの守り亦遂に不利也とせば其撤兵は埃士へ送らるべし埃士と巴爾幹の間には小亞細亞あり獨墺乃至土勃軍とても一氣に直に迫るべくもあらざらん然も茲に於ては双方共に遠征軍の事なれば行軍にも同樣の支障ある譯なり要するにガリポリの英佛軍撤退は決して大敗の後の撤退にもあらず隨つて聯合軍への直接惡影響とてはなし寧ろサロニカに赴くとせばサロニカの守りを厳にすべきこと好影響あらむ

◎北滿貿易不振理由

安奉線或は大連經由の東滿南滿聯絡北滿行貨物は近時漸く減少の徵を表はし貿易不振の狀態にあり今其理由として數へらるゝものを聞くに露國留紙幣相場は日々低落の一方にして目下日本金百圓換算百六十留内外にあれども百七十留に低下するは近々にあるべく大口取引は危險を感じ一時見合の姿にあり又東清部線貨車不廻りの爲め城子驛には其堆積貨物山積りて滿鐵貨車の三百輛は東清貨車の約六百輛に達し滿鐵は受託の際出貨主より延著承認の證あるにあらざれば輸送を拒絕し居りて全く輸送狀態圓滑ならざると其他露國は戰時中にて特に軍需品の大輸送を開始し居る際なれば東清の貨車は軍用に最も注意するの點あり近頃イルクツクに通信檢閱本部を置き其出張所を哈爾賓に設け電報及び信書の檢閱を開始せる以來哈爾賓大連間電報は二日間同信書は時に十日間を要することありて通信の敏速を缺けるも原因なるべし依つて商況輸送、經濟相場及び通信の狀態にして今後も同樣なれば貿易面目なる北滿との商取引は到底行はれ難しと豫測せらる

◎天津白河の流氷

十六日夜の寒風の爲め一夜にして白河に流氷を結びて十七日は流氷を見るに至り天津租界附近より上流は本租界は一面に水塊堆積し結氷同樣の姿を呈し船舶の航行杜絕するに至りたり然し當地方の下流は未だ一面に結氷するに至らざるが海岸附近のみに諸所流氷堆積し居れり（天津）

◎仁川船渠問題

仁川有志者間に船渠を築設せんとの議起り過般來こゝに有力者會合して内相談中なりしが愈々十二日午後六時より仁川ホテルに船渠事業に尤も密接の關係ある有力者數名會合し工務士の特に意見を聽取する所ありたるが其具體的の相談は來春早々に讓る事とし午後十一時散會したり

◎私營造林進展　國有林野貸下額

民間に於ける植林事業は近年長足の進歩を爲し造林の企業者各地に簇生せり、朝鮮中部釜山民團の殖林事業の如きは既に相當の林相を呈し斯業上參考に資す可きもの尠からず又東洋拓殖株式會社、三井合名會社及び朝鮮貴族團等を始め各所に大規模の企業者を見るに至れると共に一面地元住民中にも殖林の實行者續出し新たに植栽を行ふ而已ならず天然生の稚樹發生地を保育禁養し極めて僅小なる經費に依り比較的廣大なる殖林の實を擧げつゝあり今併合以來に於ける私營植栽本數は合計二億一千七百五十一萬三千本にして植栽面積六萬五千百二十一町五反歩を算せり而して明治四十一年度以降本年七月迄に於て造林の目的に依り國有林野を貸付せる件數は内鮮人を合し二萬一千七百三十四件にして其貸付面積十七萬九千百十五町歩なりと

◎仁川米穀輸移出額

仁川港十一月中の米穀輸移出額は四十五萬三千百二十圓にして前年同月に比し二十三萬六千九百餘圓前月に比し二十七萬七千二百餘圓の激増を示し何れも殆んど倍額以上の増加を示せり是れ各地收穫も愈々終了し出穀期に入りたると地方農民が昨年來米價の不況に金融は梗塞し居る爲め收穫物を手放して來る可き納稅の資に充てんとするより奧地よりの出荷は相接して市場の殷盛日毎に加はり内地大連方面よりの注文頻々として來るにより各手持筋の輸移出は頗る旺盛しきものあり

◎京城商議總會（再び）　修正豫算の決定

二十日の評議員會に於て五名の委員に附託となりたる京城商業會議所本年度豫算案に就き廿二日午後三時十分より再び總會を開會せし今回は會議所も一大革新の時期に到達したる際なれば此の機會に於て從來先引の押的の集會を廢し必ず通告時間に開會を勵行したしとの申合せ豫めありたることゝて當日は通告時間に過ぐる僅々十分間にして十八名の出席あり開會するに至りたるは空前の出來事なり

▲内鮮人議席變更　西村副會頭は型の如く開會を宣し本問題に入るに先立つて河村千次郞、天日常次郞、韓相龍の三氏より提出したる鮮評議員席の議席變更の件を議題とし一同の贊成を求めたるに至極適當なる處置なりとて滿場之に贊成し日本語を解する鮮人と朝鮮語を解する内地人とを交互に然る可く按排して議場の整理を行ひ斯くて愈豫算案の議了に移る

▲修正豫算討議　豫算と云ふも本年度内剩す所約三個月末の經費に過ぎざれども特に今回は會議所創設の第一の豫算にもあれば愼重審議の上實行する必要ありとして豫算委員會に附せられたるものにて一應天日常次郞氏より委員會に於て修正したる理由の大要を報告したるに之れに對し約三十分間に亘りて内鮮人數名の質問ありたれども結局委員の修正通り可決確定最後に會議所の賦課徵集金を預託す可き銀行の選定に就ては會議所の會計事務を取扱ふ副會頭の關係せる銀行に委託する方便利なるべしとの說に一致し可決四時散會したり議了したる豫算左の如し

▲收入之部

科目	豫算額
第一款　賦課金	五、四七七、三九
第一項　賦課金	五、四七七、三九
第二款　使用料及手數料	五五、〇〇
第一項　使用料	三五、〇〇
第二項　手數料	二〇、〇〇
第三款　雜收入	三〇、〇〇
第一項　廣告料及其他	三〇、〇〇
計	五、五六二、三九

▲支出之部

科目	豫算額
第一款　所費	三、七六三、五〇
第一項　俸給	一、三四四、〇〇
一、書記給	一、三四四、〇〇
第二項　雜給	七四七、一〇
一、雇員給	二九七、五〇
二、使丁給	五四、〇〇
三、給仕給	四三、二〇
四、會頭交際手當	七〇、〇〇
五、會議所交際手當	三五、〇〇
六、副會頭會計監督手當	三〇、〇〇
七、宿舍料	一四〇、〇〇
八、宿直賄料	三二、四〇
九、旅費	二五、〇〇
十、人夫及車馬費	二〇、〇〇
第三項　接待費	一六五、〇〇
第四項　調査費	一七五、〇〇
第五項　公告費	五〇、〇〇
第六項　[illegible]用費	一、二八二、四〇
一、印刷費	二七五、〇〇
二、備品費	六〇〇、〇〇
三、消耗品費	二四五、〇〇
四、通信及運搬費	八七、五〇
五、圖書費	七四、九〇
第二款　會議費	四二三、〇〇
第一項　評議員實費辨償	四一八、〇〇
第二項　商業會議所聯合會費	五、〇〇
第三款　積立金	四五〇、〇〇
第一項　會館建築積立金	三五〇、〇〇
第二項　疾病傷痍死亡退職扶助積立金	一〇〇、〇〇
第四款　創立費	五八五、一七
第一項　創立費	五八五、一七
第五款　豫備費	三四〇、七二
第一項　豫備費	三四〇、七二
計	五、五六二、三九

◎商銀株主總會

朝鮮商業銀行第十九回定時株主總會は明年一月二十日前後を期し同行樓上に開催大正四年下半期間に於ける貸借對照損益勘定利益金等の承認並に利益金分配其他重要諸案の決議を求むる筈なるが當期の配當案は九朱なりと

◎東清鐵道重役入京

豫て新幕方面に狩獵中なりし東清鐵道地方部長エム、コクシャロフ同衛生部長エフ、ヤシエンスキー同經理課次席エス、パブロフスキー同運輸監督エム、レビツキー露亞銀行副總裁リエ、イサコヴツチ五氏は狩獵を終り廿一日入京朝鮮ホテルに投じ廿二日夜は花月に於ける朝鮮銀行の招宴に臨み廿三日午前七時十分南大門驛發鮮滿直通列車にて歸滿の途に就きたり

◎大連方面電線復舊

大連方面への電報は暴風の爲め不通となり居たるが二十二日午後四時三十分より開通したり

◎勝田總裁來京期

朝鮮銀行總裁勝田主計氏は來る二十七日東京を發し直路京城に赴任すべく京城著は二十九日頃なるべしと

人事消息

▲エム、コクシャロフ氏（東清鐵道地方部長）▲エフ、ヤシエンスキー氏（同衛生部長）▲エス、パブロフスキー氏（同經理課次席）▲エム、レビツキー氏（同運輸課監督）二十三日午前七時十分南大門驛發歸滿の途に就く
▲リエ、イサコヴツチ氏（露亞銀行副總裁）同上
▲飯岡政重氏（工學士）二十二日夜釜山より入京朝鮮ホテルへ投宿

商業登記公告

株式會社漢城銀行水原支店登記事項中變更
洞里ノ名稱變更ノ結果東幕出張所所在地ヲ京畿道高陽郡龍江面東幕上里ト變更ス
右大正四年十二月二十一日登記
京城地方法院水原支廳

大正五年日記

品名	實價	發行所
當用日記大形上製	五五	博文館
同中形總革製	八〇	同
同中形背革製	五〇	同
同中形上製	三八	同
同小形上製	三〇	同
同中長形上製	三五	同
重要日記	四〇	實業之日本社
新式當用日記	五五	大倉書店
新式當用日記	五〇	同
當用日記特製	四五	積善館
當用日記上製	三九	同
當用日記小形	三〇	同
新式常用日記	六五	同
新式當用日記	四五	同
新案當用日記	六〇	春陽堂
國民日記	四五	民友社
修養日記	五〇	東亞堂
農業日誌	四五	文運堂
懷中日記細長形上製	二五	博文館
同上製	一八	同
同並製	一二	同
同細小形上製	一五	同
懷中ノート	二〇	實業之日本社
懷中ノート	三〇	同
懷中日記甲種	二〇	金港堂
文章日記	一五	新潮社
短歌日記	四〇	東雲堂
俳句日記	四〇	同
俳諧日記	五〇	俳書堂
懷中日記	三五	積善館
懷中日記	二〇	同
懷中日記	一五	同
懷中日記上製	一〇	同
懷中旅行日記地圖付	二〇	同
實用ポケット日記	五五	同
實用ポケット日記	三〇	同
ポケット大正日記	一六	富山房
Aポケット日記	五五	博文館
Bポケットノート	四五	同
Cポケット日記	六五	同
Dポケット日記	二五	同
Eポケット日記	三五	同
Fポケット日記	二五	同
Gポケット日記	二八	同
家庭日記	三八	同
家計日記出納記入帳甲	二二	同
同乙	二二	同
家庭重寶堂所勘定帳	二五	文運堂
婦人日記	三八	實業之日本社
家計簿	四〇	婦人之友社
新式婦人日記	三五	積善館
家政日記	四〇	金港堂
主婦日記	四〇	婦人之友社
英文當用日記	五〇	博文館
英文懷中日記	三五	同
英文日記	四五	ジャパンタイムス
標準かるた讀札取札各	四〇	朝報社
讀取兼用標準かるた	六〇	同

本店東京　同店大連、旅順、鐵嶺、釜山
京城本町二丁目（電話二〇八六）
大阪屋號書店
振替京城二五七三

開店御披露　木炭大販賣

恩賜原産　江原道産物　木炭大販賣

右木炭は御承知通り先般朝鮮物産共進會に於て江原道特産賣店に於て販賣多大の好評を得たる木炭を其儘弊店に於て一手販賣特約致し愈々本日より開店廉價を以て大賣出し仕候間多少に不拘御注文願上候
尚ほ石炭も各種御小賣仕候間木炭同樣御用命願上候
京城明治町支那領事館前
木炭　石炭　松本商店　電話三〇四番

◎申上げ〱

お芽出度き一陽來復のお正月も眼のあたり差し迫り申候折柄四方の御贔負樣方彌々御機嫌うるはしく渡らせられ候趣き何よりお喜ばしく蔭ながらおよろこび申上げ〱 さて妾共之れまで大和屋にて一方ならぬ御贔負を頂き居り候ひし折柄此度藝妓置屋を開業致すことに相成り内地新來の可愛いの○○○三人を差加へひたすら御意相伺ひ申すべく候へば何卒舊にまして幾久しく御贔負の程念じ上げ〱
京城南山町一丁目二番地（電話一四一三番）
ゑびすや　小蝶
お初に……
何うぞ御贔負に！
ゑびすや内　歌蝶　福蝶

東洋一實用靴

防寒用御披露
弊店製造の靴及スリッパは値段破格の安價にして堅牢なるを特色とす
一ラシャ靴防寒用　金一圓廿錢以上金一圓六十錢
一麻布靴運動用　金一圓卅錢以上金一圓八十錢
一スリッパ一式　金廿五錢以上八十錢迄
此他御注文に依り隨意調製可仕候
地方は御代金引換にて迅速送荷可致候
商標（K）京城黃金町三丁目
二葉屋實用靴製造卸小賣所

石炭

（M）
明治町一
村山商行
電話一〇五一

新酒賣出し

一升　一金拾八錢
古酒　一金參拾錢
各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候
但樽代一斗入六十錢。二斗入及四斗五升入は一圓申受候
大邱元町
齋藤酒店
電話三四九番　振替八二六番

登錄商標　飄水味淋

堺海鳴釀
專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

東京發別電

▲長崎控訴院判案　長崎控訴[illegible]

▲在外公債暴落　在外公債一[illegible]政反對の氣勢熾にして不穩の兆あり

▲我態度向を問ふ　北京來電に[illegible]海峽攻擊軍を斂めて撤退するに決せりとす

◎朝鮮商銀庫倉狀況　朝鮮商業銀行大正三年十二月より今年十一月迄同行仁川京城南大門三個の倉[illegible]百五十八圓百七十九萬一千四百五十三圓▲白米四萬六千七百七十一個二十八萬二千二百圓▲粳米一萬二千五百六十[illegible]七萬九千三百二十圓[illegible]二千五百圓▲絹織物二千七百七十二個五十五萬八百圓等にして仁川倉庫最も成績好く南大門倉庫平壤倉庫之れに亞ぐ[illegible]

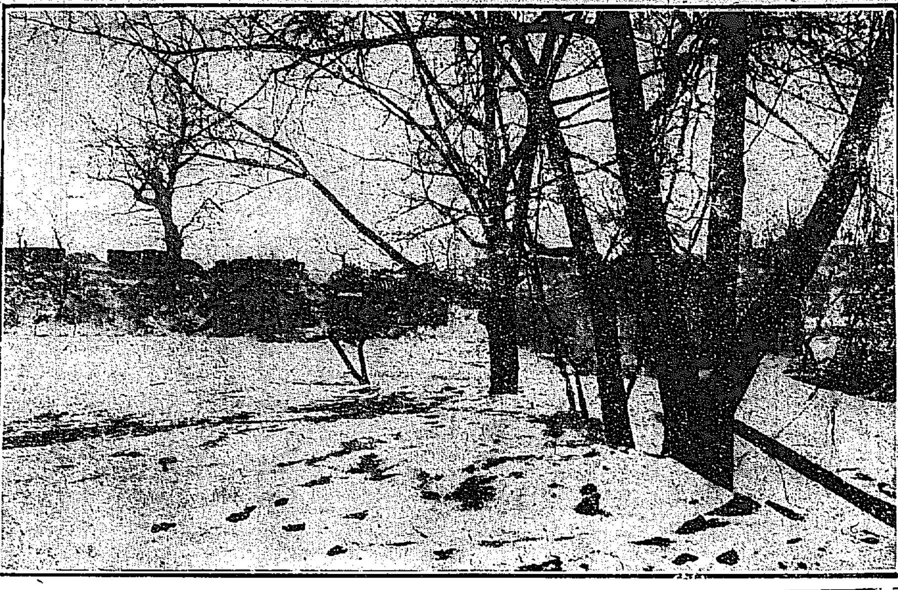
[illegible]舞伎座に滯在中十六日午後十時半頃同僚岩見山滋（二）の所有に係る外套[illegible]にて繩り十七日押送し來れり

◎税金横領　大同郡西川面上興[illegible]

◎罰金七十圓　成川郡四佳面成林里李貞根（三）は本年夏より最近までに[illegible]

…然も窮に陷りたるを立證するもの也

▲南支一帶不穩 南支一帶…に恢復の望なきを以てダーダネルス…何ら曖昧な所ありたり



殘雪

不良少年團の警戒

警務總監部の取締＝活動寫眞點檢嚴重

內地に於ては不良少年の續出ヂゴマ團の如きもの頗る多きに鑑み警務總監部に於ては是等頻出の原因を探究し此際以前より一層取締りを嚴重になす方針にて其の主原因とも認むべき活動寫眞及び少年の讀物雜誌等に就ては悉く點檢し殊に強窃盜に關するものは絕對に禁止すべく京城市內に於る活動寫眞の如きも詳細檢閲の上營業を許可し居れり

青島旭山砲臺爆破

驚く可き我軍の爆藥の威力

青島滯在中の陸軍技術審查部員中の工兵將校に依りて行はるべき砲塔に於ける火藥の爆破威力檢定は十六日午前九時より午後四時までの間に旭山砲臺內掩蔽坑に對し爆破試驗行はれたるが嘗て世界に誇りたる獨逸が多年の苦心と經驗とに依り築造せし同掩蔽坑も一瞬間に黑煙濛々たる裡に破壞され各見學の陸軍將校及び見物の內外人をして如何に其火力の有効なるかを驚嘆せしめたり前後數回の爆聲と共に同砲臺は見る影もなく砂石と變じ午後二時全く試驗を終了したる後係員は其結果に付き實地檢査を爲し午後四時赤白の標旗の撤せらるゝと共に其附近の警戒線も解除されたり（青島通信）

火藥庫の錠前を捻ぢ切る

大田郊外の椿事＝犯人內地に逃れんとす

大田外南面石橋里に建築しある同地潮川銃砲火藥店の火藥庫に本月十七日午後十二時より翌朝午前六時迄の間に何者か立越へ同火藥庫の錠前を捻ぢ切り扉を破壞して侵入し藏置しありたるゼルグナイト五貫四百匁（一箱）雷管三千發（百入三十個）導火線六百五十尺（十三把）を窃取して逃走したる賊あり急報に依り所轄大田署にては即時現場を臨檢すると共に直ちに犯人の捜索を開始せしに本月十五日大邱より大田に來り同地對馬旅館に投宿したる怪しき二名の內地人あり十七日柳行李二個を携へ同地成松方に轉宿し十七日午後九時頃兩名共外出し內一名は重き行李を携帶し十八日午前中汽車にて大邱に向ひたる形跡あり、依つて大田署員は同人を追跡し遂に釜山に於て取押へ取調べたる所此奴は長崎縣東彼杵郡松原村生れ當時大邱居住土木業兒玉萬一（三七）といふ者にて身柄は直ちに大田署に送致し目下引續き嚴重取調中なるが今一名の共犯者は早くも風を喰つて逃走し目下嚴探中にて犯人は多分自稱福岡縣筑紫郡四佐村生れ當時大田居住土木業藤彌三郎（三一）なる見込なりと

我が巡察兵を包圍す

山東鐵道沿線支那土民の暴狀

山東鐵道警備の任に在る我守備隊は警戒の爲め毎朝定期線路巡察として二名の兵士を派する例なるが去る十日午前六時歩兵某中隊の兵士二名は棗園莊より龍山鎭に向ふ途中龍山鎭を距東方約千五百米突の鐵橋に差懸りしに支那人一名鐵橋上を通行しつつありしかば兵士は之に接近し將來を戒めんとしたるに同人は却つて抵抗を試みんとするより兵士は已を得ず之を捕へんとしたるに支那人は愈々強硬に抵抗し且大聲を擧げたるに附近丁家莊部落の土民約百名は手に手に銃器棍棒を携へ來り支那人に加勢し我が兵士に暴行を加へんとする氣勢なりしが兵士は前記支那人一名を捕へ龍山鎭に引致せんとするや此時土民等は愈々抵抗したる上我が兵士の少數なるに乘じ暴力を以て支那人を奪還せり我兵等は一時龍山鎭に引揚げんとする土民の群は却つて追擊せしも我が兵巧に之を脫し之を龍山鎭警備隊長に報告したれば隊長は兵士四名を從へ現場に至りしに此時已に土民は四散してあらざりしが一名村外に徘徊するものを捕へ之を引致取調んとせしに又もや前記村落の土民百餘名は以前の如く武器を携へて來襲したれば隊長は機先を制して兵士に銃を擬せしめ已むを得ずんば發砲せんとしたるに彼等も我が兵の少數なるを侮り之に反抗せんとの氣勢を示しアハヤと云ふ折柄中隊長は部下の下士卒十數名を引き連れ來りしより彼等も之に恐れたるものと見え四散したるが隊長は堀內通譯を引連れ暴動者を檢擧せんため部落に至りたるに各戸扉を堅く閉ざし却つて容易に應ずる模樣なく已むを得ず扉を破壞して侵入し一方兵士を以て其村落を包圍せしめ首謀者と目せらるゝもの及び其れに加擔せしもの二十五名を捕へ同日濟南に護送し目下支那官憲と交涉の上犯人取調べ中なりと（青島）

遠征狩獵團の獲物

哈爾賓へのお土産＝雉子、鴨合計七十六羽

去る十七日の鮮滿直通列車で遙々哈爾賓から遠征狩獵に出懸けて來た東清鐵道地方部長エム、コクシャロフ、同經理課次席エス、パブロフスキー、露西亞銀行總裁ヴイサコヴイチ、東清鐵道運輸監督エムレビッキー同衛生部長エフ、ヤシエンスキーの一行七名は其後連日新嘉附近の山野を跋涉し折からの降雪はもつけの幸ひと雪には恐れぬ露西亞人氣質を發揮して狩り暮らし狩り明し居れる樣なるが既に雉子七十三羽、鴨三羽の獲物あり尚ほ獐か鹿を是非共射止めて手柄話をせんと頻りに奔走中なり

古亞鉛板の買占

意外の風說

近來平安北道雲山地方の鮮人間より銃砲彈密製造の風聞起りたるが右は一の浮說にして實は昨今亞鉛板の價格意外に騰貴し且つ買入者多きより或は銃砲彈の製造の爲めなりとか又は外人の手を經て獨逸に輸出するにあらずや等の風說を生みたるものにして事實は去十一月上旬頃より雲山郡北鎭在住の鮮人商人頻りに古亞鉛板を買占めたる結果從來一斤六錢位の相場を呈し居たるものが一躍一斤十六七錢となるに至れり其の原因は歐洲大戰亂以來亞鉛板は漸次輸入減少し目下內地にては同品の缺乏を來したるを大阪の商人より同品購入の交涉を受け內地人數名は亞鉛板購入に從事し既に二萬斤を內地に送付せりと尙ほ聞く所に依れば右亞鉛は精錬用明礬の製造材料には使用し難きも重に銅と合金し又は船舶具に塗布する等用途甚だ廣く又鮮人の買占めは食器『サベリ』製造用として京城、定州及び平壤に送付せる爲め目下非常の缺乏を來せしに由ると

■今日は冬至 豫記の通り

二十三日午後六時十四分冬至の節に入り升、七味地獄を大正で行けばさし當り鑑の瓦斯煮とでも云ふ所だらうが其處は簡素古朴な齊例に一陽來復、香苔しの雅趣をそのまゝ南瓜の砂糖炙かそれも用意がなくば醴酒の腹溫めにウン精氣を丹田に下崩えさせて軈て來ん五龍の春の大活動の素地を作るも一工夫でありませう

邦人婦人獨逸人に勝訴す

今夏青島深山町九一牧內とめが隣家の獨逸人カー、シエーフアー方に面せる壁に風通しの爲め窓を作りたるにシエフアーは他人の邸內を見通すべき窓を無斷にて設くるは不都合なりとて兩三日後自の亞鉛板を以て外側より該窓を塞ぎたるよりとめも默つて居らず家內より棍棒を持ち來りて內側より之を押除けんと突き出したるを折柄窓際にありしシエフアーも驚き慌てたるが運惡くとめの棍棒を突き戾したる爲めとめは第三胸の邊りを打ちたる爲め肋骨を折り尙乳下に打撲傷を受けたる騷ぎに移り遂に警官の厄介となりシエフアーは過失傷害の廉にて罰金三十圓を科せられ一と先づ段落を告げたるが其後とめは健康兎角思はしからず醫藥の費用にも多分の失費を見たりとてシエフアーを相手どり之が治療代千二百八十五圓慰藉料二千圓損害金百二十圓合計三千四百五圓の請求訴訟を青島民事法廷に提出し爾來數回に亘る事實審問證據調を經て此程漸く判決言渡ありたるが之に依ればとめの請求は其理由あるも唯請求の金額過大に失すとて此點に就き公平なる判定を爲したる上合計銀一千九圓七十五錢は被告に於て支拂義務ある旨宣告ありたり然るにシエフアーは此判決に不服なるか原告の請求あるも容易に之が支拂を爲さんとせざるより已むなくとめは十六日被告に對して強制執行を求めたるが全部落著を見るに至らざる由兎に角青島にて獨逸人相手の訴訟さへ珍らしきに殊に此種の請求訴訟にして原告に利益ある判決を見たるは青島民事法廷開始以來のことなりと

檢事より控訴して有罪の判決

愛知縣碧海郡岡村當時忠淸南道太田驛町居商市川一（三）は營業の繭類買占めに際し種々便宜を與へ貰はん爲めに其得意先地方に出張の際本年七月以降買出地なる忠北の各郡に於て山梨縣山梨郡日川村當時忠北淸州稻荷町居元忠淸北道蠶業講習所講師坂倉房平（三五）福島縣會津郡伊南村當時淸州稻荷町居元忠北道蠶業技手佐野榮一（三九）佐賀縣佐賀郡久保泉村當時淸州本町居休職忠北道書記中村吉太郎（三四）の三名に對し賄賂したるものにして三名は各公務の爲め郡部地方に出張せる際宿泊料遊興費車馬代等を收賄したり而して此內坂倉は數回に合計如上の費用を三十四圓四十四錢佐野は同上合計七十圓四十二錢中村は合計二十五圓四十六錢の支拂ひを市川より受けたる爲め各瀆職罪となり市川は贈賄罪となり十一月二日公州地方法院淸州支廳に於て各無罪の判決となりたるを立會ひ檢事より控訴する所となり京城覆審法院に於て十二月二十日前判決を取消し被告四名は各懲役四箇月（各二年間執行猶豫）の判決となりたるを何れも不服として高等法院に上告したり

學生ページ寄稿歡迎

本紙新年號の一部を開放し『學生ページ』と稱し吾が學生諸君の爲めに大いに氣を吐くと同時に新春新紙の一大光彩たらしめんとす、左の規定に依り諸君の奮つて投稿あらんことを希望す

▲學校自慢▲受持敎師評判記（綽稱集も可）▲日記▲學校行事

〆切 廿五日本社著の分まで（內鮮小學校より專門學校まで總ての學生諸君の投稿を歡迎す）

弊店儀地方讀者の御便利を計り從來京城日報一箇月金五十錢（郵稅共）三箇月前金送附の讀者に郵稅無料にて御取次申候處今後は郵送料一箇月金十五錢申受候也

京城本町三丁目（振替京城九九番）

町田新聞部

一輕便軌條用附屬フイツシプレート 外二點

右購買ス詳細ハ十二月二十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

各國時計 自轉車 蓄音器

直輸入 卸商

京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）

喜多金光堂

振替口座七八二番

■御大典紀念出版!!! 曩に非賣品たりし本書は今や、何人の高需にも應ずるの機會を得たり

山之井麟治著

大正四年十一月十日 增補再版發行

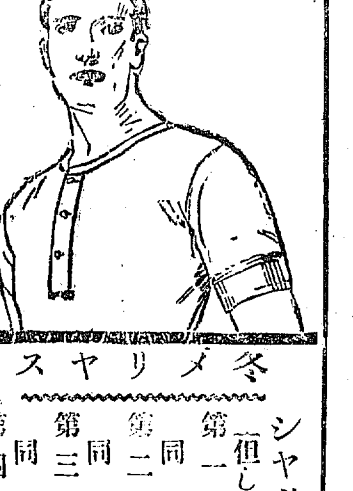
朝鮮熟語解譯

本書は曩きに初版出るや非常なる好評を以て迎へられ忽ちにして全部配本品切の所爾後益々註文申込者あり、於茲著者に請ひて再版發行の諾を得以て一般諸賢の芳志に酬ゆる光榮を得たり今や更に二十八頁の增補をなし卷末に日本假名を付して鮮音に方を現し以て益々本書の完全を期したり度本書を繙かば、鮮文鮮語を縱横使用し且つ朝鮮熟語の煩を除くべし速に高需の命を給へ

全一冊四六版和裝 裝釘優美携帶便 紙數三百十餘頁 定價金五拾五錢 送料金六錢

■發行所 慶北大邱府元町 振替京城六八八 玉村書店

■發賣店 京城本町 日韓書房 ■大阪屋 ■巖松堂



冬メリヤス

シャツ一枚に付（但しズボン下同値）

第一號 一圓三十五錢

同 第二號 一圓十五錢

同 第三號 一圓也

同 第四號 八十八錢

東京 塚谷出張店

京城本町

ニ日記界のレコードを破れるニ

實業之日本社の日記

大正五年 重要日記

第一流の商店會社は我日記を年末年始の贈答品に採用し賣行盛りなり

全國各書店に備付あり

是ぞ本年新たに設けたる他に類なき本日記獨得の特色

毎年改良に改良を加へ信用と名聲を獨占し來れる我社の日記は明年度より更に上記の如く昨年の今日なる欄を設け昨年の溫度、天候、相場、出來事を其日の記入せりこれ日記に最も必要にして從來他になかりしもの。果せる哉大好評註文例年に倍加す

定價總布 重要日記 四十錢 郵稅八錢

昨年の今日

○用紙は上等純白 用紙は白く、厚く、堅く、筆で書いてもペンで書いても裏にシミ出るが如きことなく、例年好評嘖々たり

○體裁は優美堅牢 體裁意匠は眼のさむるやうに美しく且つ丈夫で一年使つても破れることなし

○內容は便利重寶 曆、衛生、園藝、行事、毎月の收支計算表、備忘錄、鐵道、郵便規則等日常必要のものを一切網羅す

○東京市內地圖添 見返しには東京市內の交通圖を添ふ、斯くの如く完備せるものなし

○實價は無上至廉 飽くまで讀者の利便を主とする我日記は斯の如く何から何まで完備して然も定價は極めて廉なり

賣切れぬうち求められよ

大正五年 婦人日記

家計簿と日記を兼ねたるもの、一方に日記には毎日の收入、支出を記入し毎月之を總計するに便す一方附錄として家計のとり方、しみぬき法、漬物のつけ方其他婦人に必要事項を添ふ

定價三十八錢 郵稅六錢 四六判總布

大正五年 懷中ノート

手帳と日記を兼ねたるもの、懷中に携帶して隨時隨所に所用、感想を記入するに便す、當代の紳士、學生、淑女は必ず本ノートを懷中す

紳士學生用として懷中ノートに二種あり

上製 總革、天金、意匠優美 定價卅錢、郵稅二錢

並製 クロース、意匠優美 定價廿錢、郵稅二錢

千生瓢 (78)

須藤南翠作 筒井年峰畫

電馳(五)

法螺の音に促がされた氏家が軍勢は、旗指物を押立てゝ、隊を揃へ、列を整へ、堂々として著到した。行廣は軍扇を手にして、大將分に向ひ

『筑前守は志津ヶ嶽へ向はれた上は我等も此處に在つて、合戰を他所に見過すべきでない。仍て是れより出陣する。人馬ともに輕々と甲ふて、夜籠に彼處へ馳け著けうぞ』と、嚴かに言ひ渡した。

大將どもは二言となく承諾して、孰れも自分の班に還り、急ぎ夜中行軍の支度をした。

行廣は吉晴を見て

『堀尾殿、足下も是れより發馬せらるゝか。但し留まつて岐阜の押へに當られうや』と問ふた。

吉晴は莞爾と打笑むだ。

『筑前守殿仰せ貴殿と唱刺へて死ねとおざつた。其一命不思議に助かる上に、更に命の捨て處、仰せ被られぬばなり申さぬか』

『然らば、共に志津ヶ嶽へ』

『如何にも、此手の殿軍、承はらう』

『さらば御先仕らう。内膳が舍人、馬牽け!』

駿馬の一聲嘶くと同時に、行廣は早くも馬上の人となつた。城門さつと押排いて、驀崩出づる軍勢の足は更に土をも踏まぬげであつた。吉晴も亦人數を纏めて、後陣にうつて出馬した。十三里餘の街道には、捨篝火十間毎に焚き列なり、邑に入れば簞食壺漿して迎ふる農民路去りあへず、水を供へ秣を備へて、歡待至らざる所がなかつたので、深夜といへ而も急行軍ではあつたが、何等の不如意を感ずる事もなく、人馬も些の疲勞を覺えないで、我も我もと韋駄天走りを續け得た。

本回の首に、四月十九日と記したのは、誤つて一本に憑つた過ちです。中川瀬兵衞戰死の日は、大岩山上の碑文の示す如く、四月二十日を正しと信じて、之に憑據した上は、秀吉大垣出馬の日も、勢ひ二十日でなければならぬ事となります。此間の道程十三四里の間にて、一時(二時間)三里を普通の速歩とすれば、轡鑣を合せて馳ける時は、一時五里を疾驅するは、敢て至難の事とも思はれません。さすれば、大岩陷落の急使、已午の頭に發して、未下刻(三時)若くは申刻(四時)に大垣に達する割合となる。小瀬甫庵の太閤記には、秀吉未刻(二時)に大垣を出馬し、氏家堀尾、申下刻(五時)に後を追ふと記してあるが、此時間は正確とは言ひ難い。假にも一萬五千の大軍を動かすのに、命令一下、即時出發といふ事の出來得べきものでない以上、速くも出師準備に半時(一時間)を費すは當然の推算と存す。此推測に依つて算すると、秀吉の出發は、早くて申刻(四時)若くは申下刻(五時)となり、行廣吉晴の出發は酉下刻(七時)若くは戌刻(八時)となるのが至當であらうと信ぜられます。此れに由つて考ふるに秀吉が志津ヶ嶽の麓に著したのは、早くて戌下刻(九時)乃至亥刻(十時)となる割合とするが至に近からうと思ひます。斯うなると島左近の一騎大垣に注進に及んだといふ事は、時間が許さぬ事となつて、遺憾ながら抹殺するの已むなき次第となります。此間諸本區々にて決し難けれども、更に精細なる史實を得るまでは、一先づ如上の誤謬を正して置きたいと存じます。社撰多罪、幸ひに御宥恕下されたい。 著者謹識

秀吉は後より續く諸軍勢の爲に、庄屋大百姓等に餉軍の準備を命じて、親から先頭に馬を驅つて疾走したが、行程僅に五里ばかりの處で、名代の逸物大鹿毛が、脚を折つて潰れてしまつた。此の大鹿毛は、明智左馬介が、湖水を乘り切つた駿足であつて、秀吉も殊の外寵愛してゐたが、僅の驅走に仆れたのは、是非もない事であつた。

時に春照野の稱名寺の門徒等、秀吉の舊恩を懷うて、炬火數多點し列ね、菓子を捧げて伺候したので、秀吉も少からず便宜を得て、早速乘替を求め、時刻を移さず發馬する事を得たのであつた。

京日案内

◉普通 一回前金三十錢(無割引) 一號活字一回每に金五錢増

◉看護婦二名見習數名至急募集す希望者來談あれ (姓名 仁川京日支局) 173

◉貸家 所在初音町一六五▲笠軒 立官吏向閑靜座敷六疊二間三疊一 畑附 ◉市內杜洞一一四▲林業社 189

◉有給女外勤員募集 希望者自筆の履歷書携帶本人來談のこと 京城太平通二丁目△朝鮮公論社 188

◉金庫 △タイプライター コッピープレス 格安にて讓りたし ○姓名在社 187

◉清酒一升に付米一升御添へ致し升 是非一度御來店下さい歲末迄延期 京城黃金遊園前 坂本酒店 184

◉好機有り 至急男女募集す活動家は來れ ○南山町一丁目大和屋方△牧田 185

◉番外 一回前金六十錢(無割引) 一號活字一回每に金五十錢増

◉乳母至急入用 希望者は京城長谷川町安東病院へ又は黃金町三丁目山中留次郎商店迄至急御來談ありたし 194

餅用 小豆あん製造 種々賣出 年內中は御用途一貫目以上は迷遠 若草町一 京城製餡所 電話九五一 190

◎質 京城吉野町一丁目(南海湯下隣) 南海質店 191

質 電話一二八九◯番 完全なる創庫の設備あり 一般業務は確實御通知次第御伺申上 京城新町 石橋質店 192

勅題 寄國祝 本日より賣出 菓子 干支菓年の神 (例年通年餅大勉强) ◉京城本町丁目 (若郵便局前) 電話三三四三 本城屋 193

◉乳母至急入用 身體壯健にて年齡廿歲以上卅八歲以下の著希望者本人來談あれ 但本年九月後生兒 京城若草町七〇番地 ○高橋 186

內科 胃呼吸 專門 腸器 兒科 病 (入院隨意) 山田醫院 電話一八八◉ 京城本町二丁目元中島病院跡 81

◉寫眞 年賀用 意匠高尚 葉書 入用 ... 京城寫眞 179

忠州 到著迅速運賃低廉 貨物取扱 酒井運送店 京城鍾路五丁目 ◉振替三三八九◉電話三三九一 179

◉年の餅 例年の通ちんつき出搗內搗も致します 京城北米倉町 元祖桃太郎饅頭 米倉軒 明治町通支店所在 166

▲年の餅 出搗內搗の求に應ず 京城旭町一丁目 電話二二八一番 一六軒 165

◉はねつき うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 127

梅毒 結核 黃金遊園前電車通 外科 內科 上野醫院 電話二九三四番 ◉診察夜九時迄 ◉往復電車の便有り 97

◎質 ○秘密を守り物々勉强 ○仕り親切に取扱申候 黃金遊園前電車停留所橫入 電話三一一一番 金子質店 96

恩給 年金類低利長期立換短期 無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸付候 京城南大門外 ○御成町 山口屋 93

開始 ○物を使用し懇切迅速御便利に且弊具料廉價に御相談仕候 葬儀舍は弊具全部新 若草町七〇神 電話取次二七二六 (一)葬儀舍 136

◉債券 公債 諸株式 賣買 大阪野村德七代理店 京城本町二丁目 田中友吉商店 電話長九九三番 144

▲廣告▼

購買入札公告

一、三百磅鋼線 千五百貫

右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ

大正四年十二月廿二日

朝鮮總督府遞信局

齒の良くなる理想の齒磨

醫師の勸奬むる

最新最良の

クラブ齒磨

帝國醫科大學各醫學專門學校を始め齒科醫學者間に最も厚き信用を有する理想の齒磨はクラブ齒磨なり

露國及英國より大注文來れる

クラブ齒磨の

十大特色

クラブ齒磨は、メンバー、オブ、ファマシユチカル、ソサイチーの英國學位を有するクラブ白粉クラブ洗粉本店技師英人ビー、エフ、スミス氏が多年苦心研究の結果最新科學の精粹を應用し二十種の貴重原料を配合して譯製せる他に比類なき品質優秀の齒磨にして從來の齒磨には到底模似の出來ぬ數多の特色を有す

第一に クラブ齒磨は一般の齒磨よりも遙かに優りて化學的に齒の色を白く美しくす

第二と第三に クラブ齒磨は日に幾度使用せらるゝも絕對に齒の琺瑯質を損する事なきのみならず進んで化學的に琺瑯質を保護し且つ齦を收斂し使へば使ふ程齒と齦を強固にす

第四と第五に クラブ齒磨は絕大の殺菌力と防腐力を有し且使用後長時間に亙りて防腐殺菌の力を持續するが故に口腔衛生上の効果一般の齒磨よりも遙かに優れり

第六に クラブ齒磨は絕對に乳酸の發生を防ぎ齲齒の原因を除き齒痛を未發に防ぐの特効あり

第七と第八に クラブ齒磨は積極的に消化液の分泌を促し消化作用を助け且つ醫學的に口臭口熱を除き食味を美ならしむること一般の齒磨よりも遙かに優れり

第九に クラブ齒磨は最も爽快なる香味と學理的作用とに依りて心氣を颯新し頭腦を明斷ならしむるの特効あり使へば使ふほど新しき氣分を與ふるはクラブ齒磨獨特の長所なり

第十に クラブ齒磨は品質最も優秀にして一回の使用量極て少量にて足る故に一般の齒磨よりも遙かに經濟たり

一般の齒磨よりも遙に優る

商況

大阪三品 未着

仁川米豆取引所

二十二日の二月限

十二月限

實買取組高